NEC

98

トラブルQ&A

困ったときにお読みください

（Windows 95インストール）

●トラブルQ&A

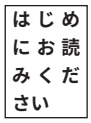
●トラブル解決入門

98 MATE

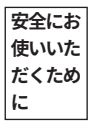
本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外のマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』「9．目的に合わせてマニュアルをお読みください」でご確認ください。

◆ 添付品の確認、本機の接続、Windows 95のセットアップ
→『はじめにお読みください』



◆ 本機を安全に使うための情報
→『安全にお使いいただくために』



◆ Windows 95の基礎知識、基本的な操作方法
→『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』

◆ 本機の各部の名称・機能・増設方法、システム設定
→『ステップアップガイド』

◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの操作方法、削除/追加
→『アプリケーション操作ガイド』

◆ 再セットアップ方法、Windows 95以外のOSの利用方法
→『再セットアップガイド』

このマニュアルです

◆ トラブル解決方法
→『困ったときにお読みください』

◆ ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介
→『メンテナンス&サポートのご案内』

◆ パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介
→『NEC PCあんしんサポートガイド』

電子マニュアルの利用について

次のWebサイト(PICROBO)では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っています。また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

http://download.pc98.nec.co.jp/m/index.htm

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどを紹介しています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で他に転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや、制御等の使用は意図されておりません。
これら、設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
OS/2、OS/2 Warp、WIN-OS/2は、米国IBM Corporationの商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
TGUI9682はTrident Microsystem, Inc.の商標です。
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998、1999
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

808-883412-018-A2

はじめに

パソコンを使うのは難しいことではありません。しかし、使っているうちにいろいろと「困ったな」と思うこともあると思います。特に、パソコンに触れるのが初めてだという方は、パソコンの操作にとまどうことも多いでしょう。

このマニュアルは、本機を使用中に、「困ったな」、「何かおかしい」と感じたときの対処方法を説明しています。
パソコンを使いこなすためにこのマニュアルをご活用ください。

対象機種

このマニュアルは、次の機種を対象にしています。

- **PC-9821 Ra333/W60**
- **PC-9821 Ra300/W40**
- **PC-9821 Ra40/W60C5、W60C7、W60CZ**

1998年 12月　初版
1999年 7 月　二版

このマニュアルの構成

このマニュアルは次の内容で構成されています。

Part1 トラブルQ&A

ここでは、トラブルの具体的な事例と解決方法を一問一答形式で説明しています。実際に起こったトラブルと同じトラブルの事例を探して、それぞれに対するトラブルの解決方法を見つけてください。

Part2 トラブル解決入門

ここでは、トラブルが起こったときの一般的な解決方法や相談窓口について説明しています。
トラブルが起こったら、「トラブル解決のためのチェックポイント」をチェックしてみてください。いくつかのチェックポイントをチェックするだけで、すぐに問題が解決できる場合もあります。それでも解決方法が見つからない場合は、各種相談窓口にご相談ください。その他、コンピュータウイルス対策など、トラブルの予防についても説明しています。

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性もあります。
	参考にしていただきたいことを説明しています。
	本文中に出てくる用語の説明や、知っておくとよいことなどを説明しています。
☞	参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

本機	PC-9821Ra333、PC-9821Ra300、PC-9821Ra40本体と、CRTディスプレイやキーボードなど、本体に接続されている周辺機器を含む、システム全体を指します。
本体	CRTディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、PC-9821Ra333、PC-9821Ra300、PC-9821Ra40を指します。
Windows	Windows 95を指します。
MS-DOS	MS-DOS®全般を指します。 特に必要な場合は、バージョン名を記載します。
MS-DOSモード	Windows 95のMS-DOSプロンプトの状態を指します。
[XXX]	[ ]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。 例 : [OK]ボタン
[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]	[スタート]ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから[設定]を選択し、横に現れるサブメニューから[コントロールパネル]を選択する操作を指します。
ESCキー	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。
『XXX』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。
バックアップCD-ROM	「アプリケーションCD-ROM／バックアップCD-ROM(OSを除く)」を指します。

記載されているソフトウェアなどの製品正式名称は、以下のとおりです。

本文中の表記	正式名称
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Server Network Operating System Version4.0
Windows NT 3.51	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 3.51およびMicrosoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 3.51

画面について

このマニュアルで記載されている画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と多少異なることがあります。

本文中で使われている用語で、わからない用語が出てきた場合は、『ステップアップガイド』の付録の「パソコン用語集」をご覧ください。

目 次

ご注意 ii
はじめに iii
このマニュアルの構成 iv
このマニュアルの表記について v
目次(このページです) vii
トラブルが起きたとき ix
Part1トラブルQ&Aの内容一覧 x

Part1　トラブルQ＆A

煙・異臭・熱・異常音・断線などのトラブル 2
パソコン使用中のトラブル 3
電源を入れる前の準備 5
初めて電源を入れた時のトラブル 6
本機起動時のトラブル 8
Windows 95の操作と設定 14
画面表示 23
キーボード、マウス 29
タイマー機能 35
フロッピーディスクドライブ 36
ハードディスク 38
CD-ROMドライブ 42
印刷 44
LAN(ローカルエリアネットワーク) 47
本機の動作環境の設定 49
その他 50

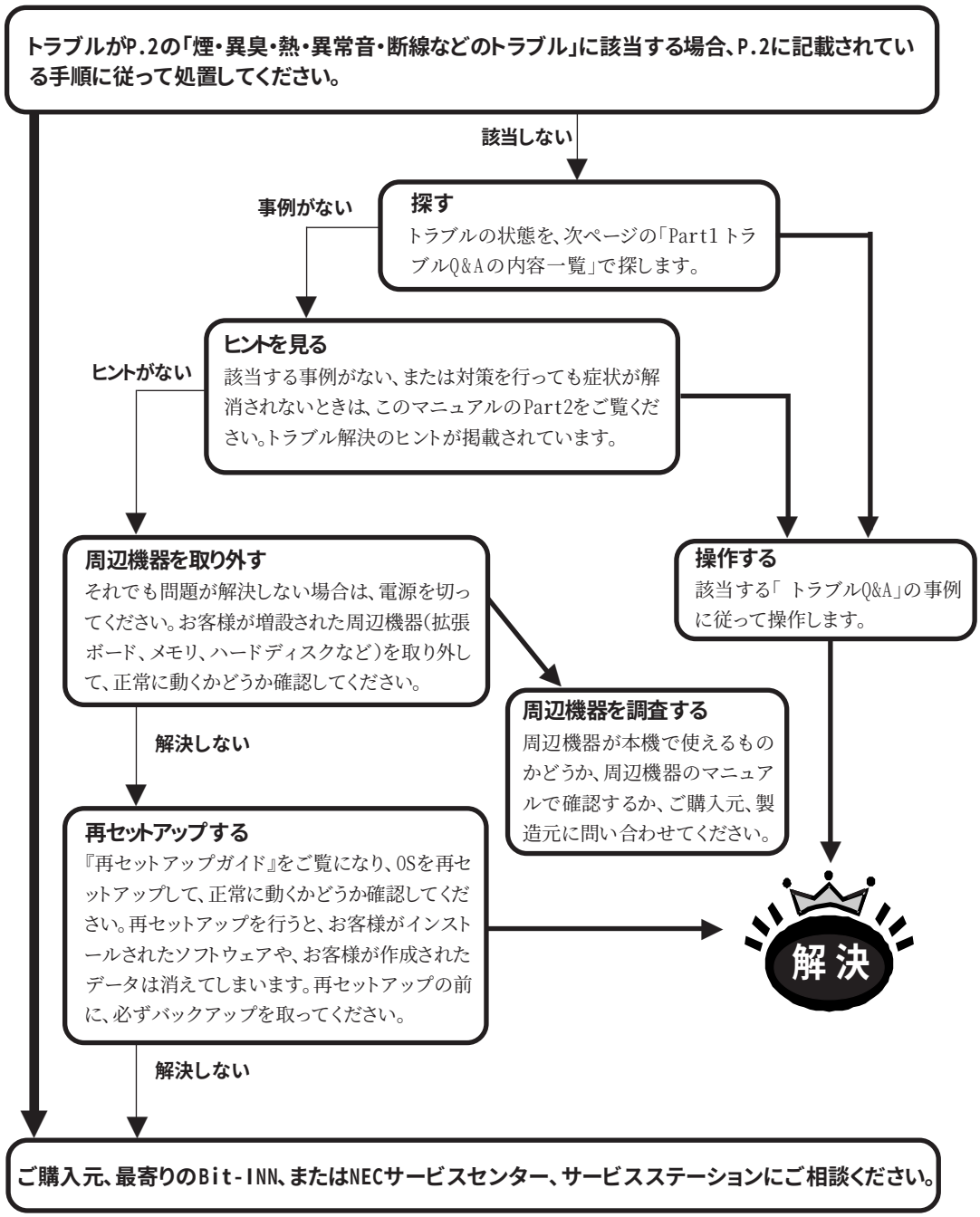
Part2　トラブル解決入門

トラブル予防のためのチェック ポイント 60
トラブル解決のためのチェック ポイント 63
トラブルチェックシート 70
NECのサポート体制について 72
　通信でパソコンの最新情報を知りたい 72
　技術的なご相談は 73
　故障かな?と思ったら 73
　パソコンセミナーを受講したい 75
コンピュータウイルス対策について 76
　コンピュータウイルスとは 76
索引 79

トラブルが起きたとき

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください。

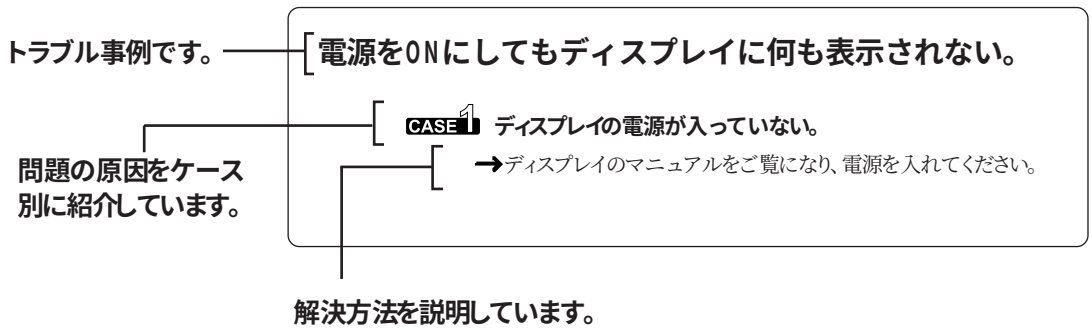
このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手がかりに次の手順で解決法を見つけてください。



Part1　トラブルQ&Aの内容一覧

ここに掲載するトラブルQ&Aの内容一覧は、トラブルの状態がわかっていたり、目的の処置がわかっている場合のほかに、トラブルの内容が漠然としている場合にも探しやすいように、このマニュアルに掲載されている情報を一覧表にしています。トラブルQ&Aの一覧を検索して、Part1に掲載されている情報の見出しとページを調べることができます。

■Part1の読み方



■Part1の項目一覧

Q&A 煙・異臭・熱・異常音・断線などのトラブル

- 本機から煙が出たり、異臭がしたりする。 …… P.2
- 本機が、手で触れられないほど熱い。 …… P.2
- 本機から異常な音がする。 …… P.2
- 本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた。 …… P.2
- CD-ROMから異常な音がする。 …… P.2

Q&A パソコン使用中のトラブル

- 本機について技術的な相談をしたい。 …… P.3
- 修理を依頼したい。 …… P.3
- キーボードに飲み物をこぼしてしまった。 …… P.3
- 保存していないデータを消してしまった。 …… P.4
- テレビやラジオにノイズが入る。 …… P.4
- フロッピーディスクを誤ってフォーマットしてしまった。 …… P.4
- 安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった。 …… P.4
- Windows 95の動作が非常に遅くなった。 …… P.4

QA 電源を入れる前の準備

- 『はじめにお読みください』を参照したら、添付品が不足していた。 …… P.5
- 安全に使うための注意事項を確認したい。 …… P.5
- 添付品の接続のしかたが分からない。 …… P.5

QA 初めて電源を入れた時のトラブル

- Windows 95のセットアップ中に、誤って電源を切ってしまった。 …… P.6
- セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを終了します よろしいですか?」というメッセージが表示された。 …… P.7
- Windows 95セットアップのハードウェアの検出中にコンピュータが応答しなくなった（ハングアップした）。 …… P.7
- セットアップ後に名前や会社名の入力を間違えたことに気がついた。 …… P.7

QA 本機起動時のトラブル

- 電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。 …… P.8
- 電源を入れても「ピポッ」という音がしない。 …… P.9
- 電源スイッチを押すと「Windowsが正しくシャットダウンされませんでした。・・・どれかキーを押してください」と表示される。 …… P.9
- 電源を入れると、エラーメッセージが表示される。 …… P.10
- 別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった。 …… P.11
- パワーオンパスワードやセットアップパスワードを忘れてしまった。 …… P.12
- Windows 95のパスワードを忘れてしまった。 …… P.12
- 「Windows 95起動メニュー」が表示され、Safeモードで起動した。 …… P.13
- 起動時にスキャンディスクが実行された。 …… P.13

QA Windows 95の操作と設定

- Windows 95の基本操作について知りたい。 …… P.14
- 再セットアップのしかたについて知りたい。 …… P.14
- インストールされているアプリケーションソフトについて知りたい。 …… P.14
- 別売のアプリケーションソフトについて知りたい。 …… P.14
- アプリケーションソフトがインストールできない。 …… P.14
- アプリケーションソフトを削除したい。 …… P.15
- ファイルが見つからない。 …… P.16
- 必要なファイルを消してしまった。 …… P.16
- 長いファイル名が使えない。 …… P.16
- Windows 95を起動しても、[スタート]ボタンが表示されない。 …… P.17
- Windowsパスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される。 P.18
- Windows 95起動時に「Windows 95へようこそ」の画面を表示させたい。 …… P.18

● デバイスマネージャで、「スタンダードディスプレイアダプタ(9821シリーズ)」に赤い×マークが付いている。 P.19
● ファイルの拡張子を表示させたい。 P.19
● フォルダを開くと元のフォルダのウィンドウがなくなる。 P.20
● MS-IME97使用時、Windows 3.1対応アプリケーションが使用できない。 P.20

QA 画面表示

● 電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。 P.23
● CRTディスプレイの画面の色が部分的に変わる。 P.24
● 電源を入れた後しばらくすると、画面が真っ暗になる。 P.24
● 本体の電源ランプとディスプレイの電源表示用LEDまたはパワーランプは点灯しているのに、画面が真っ暗になってしまった。 P.24
● ディスプレイの省電力機能が設定できない。 P.26
● ディスプレイの解像度などの変更をする際、「ディスプレイの種類が指定されていません・・・」というメッセージが表示される。 P.26
● アイコンの表示がおかしい。 P.27
● マウスポインタが見にくい。 P.27
● 画面の表示位置やサイズがおかしい。 P.27
● MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。 P.27
● ハードウェアウィザードを起動してドライバのインストールを実行して再起動したら、解像度が変わってしまった。 P.27

QA キーボード、マウス

● キーボードのキーを押したり、マウスを動かしても何も反応しない。 P.29
● 使用中に突然キー入力やマウスの操作ができなくなった。 P.29
● ウィンドウが画面から切れてしまっていて操作できない。 P.31
● Windows 95で日本語入力をするには? P.31
● 日本語入力ができない。 P.31
● キーボードのCTRLキーを押しながらXFERキーを押しても、日本語入力システムのON/OFFができない。 P.31
● キーの入力の速度を変更したい。 P.33
● キーボードで押したキーと違う文字が表示される。 P.33
● マウスの動きが悪くなった。 P.34
● ダブルクリックがやりにくい。 P.34
● MS-DOSプロンプトで別売のMS-DOS用の日本語入力システム(FEP)がうまく組み込めない。 P.34

QA タイマー機能

● 98Timer機能を利用して電源が入らない。 P.35
● 98Timer機能を利用して電源が切れない。 P.35

フロッピーディスクドライブ

- フロッピーディスクドライブが使用できない。 P.36
- フロッピーディスクの内容が読み込めない。 P.36
- フロッピーディスクの読み込みはできても、書き込みがまったくできない。 P.37
- 飲み物をこぼしてフロッピーディスクを汚してしまった。 P.37
- 5インチのフロッピーディスクを使いたい。 P.37

ハードディスク

- ハードディスクの領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない。 P.38
- 内蔵ハードディスクが使用できなくなった。 P.38
- ハードディスクに障害がおきた。 P.38
- 固定ディスク起動メニューを表示させたい。 P.39
- ハードディスクの空き容量が不足してきた。保存できない。 P.39
- ハードディスクを使っているとき、本体から小さな音がする。 P.41
- ハードディスクの動作速度が遅い。 P.41

CD-ROMドライブ

- CD-ROMのデータが読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びがする。 P.42
- CD-ROMドライブのトレイが出し入れできない。 P.43
- ビデオCDなど、MPEG形式の動画データのCDが音飛びする。また、画像がなめらかに再生されない。 P.43
- ビデオCDなど、MPEG形式の動画データのCDの再生中、再生画面が消えてしまう。 P.43
- MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい。 P.43

印刷

- プリンタが使用できない。 P.44
- プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される。 P.44
- LANに接続されたプリンタから印刷できない。 P.46

LAN（ローカルエリアネットワーク）

- ネットワークへの接続方法がわからない。 P.47
- ネットワークに接続できない。 P.47
- エラーメッセージが表示される。 P.47
- 共有ファイルやフォルダが使えない。 P.48

本機の動作環境の設定

- メモリスイッチの設定が変更できない。 P.49

QA その他

- どのような種類の周辺機器が取り付けられるのかを知りたい。 P.50
- 別売の周辺機器の取り付け方と設定のしかたを知りたい。 P.50
- このパソコンで使っている割り込みレベルを知りたい。 P.50
- メモリチェックで表示されるメモリの容量が実際の容量より少ない。 P.50
- 表示される日付と時刻が正しくない。 P.51
- 内蔵スピーカからの音が出ない、または大きすぎる。 P.51
- マイクロホンを使用するとキーンと音が出る(ハウリング現象)。 P.52
- シリアルインターフェイスが使用できない。 P.52
- ダイヤラーで、ダイヤルが正常に実行できない。 P.53
- 通信が切断されたり、動作が不安定になる。 P.53
- シリアルコネクタやFAXモデムボードを使用した通信時に、文字落ちなどが発生する。 . . P.53
- Windows 95以外のOSを使いたい。 P.53
- アプリケーションソフトが起動しなくなった。 P.54
- 利用できるアプリケーションを知りたい。 P.54
- 本機添付のマニュアルをなくしてしまった。 P.54
- フロッピーディスクを修復したい。 P.55
- CD-ROMを交換したい。 P.55
- 消耗品と消耗部品について知りたい。 P.55
- 本機を譲渡したい。 P.56
- このパソコンを海外で使いたい。 P.57
- 西暦2000年問題について知りたい。 P.57
- パソコンについてもっと知りたい。 P.57
- 本機を廃棄したい。 P.58

Part 1

トラブルQ&A

トラブルの具体的な解決方法を一問一答形式で説明しています。

- ●煙・異臭・熱・異常音・断線などのトラブル
- ●パソコン使用中のトラブル
- ●電源を入れる前の準備
- ●初めて電源を入れた時のトラブル
- ●本機起動時のトラブル
- ●Windows 95の操作と設定
- ●画面表示
- ●キーボード、マウス
- ●タイマー機能
- ●フロッピーディスクドライブ
- ●ハードディスク
- ●CD-ROMドライブ
- ●印刷
- ●LAN（ローカルエリアネットワーク）
- ●本機の動作環境の設定
- ●その他

煙・異臭・熱・異常音・断線などのトラブル

本機から煙が出たり、異臭がしたりする。
本機が、手で触れられないほど熱い。
本機から異常な音がする。
本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた。

→このようなトラブルが発生した場合は、次の手順で対応してください。

1 すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

2 ご購入元、最寄りのBit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。

CD-ROMから異常な音がする。

→CD-ROMにラベルなどを貼ると、回転時にバランスがとれず、異常な音が出ることがあります。CD-ROMの表面にはラベルなどを貼らないでください。

パソコン使用中のトラブル

本機について技術的な相談をしたい。

➡このマニュアルを読んでもトラブルが解決しない場合は、NECパソコンインフォメーションセンターにお問い合わせください(☞P.73)。

修理を依頼したい。

➡ご購入元、NECのサービス網、PCクリーンスポット、Bit-INNにお問い合わせください(☞P.73～P.75)。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった。

CASE 1 キーとキーのすき間に入っていなかったら。

➡『ステップアップガイド』のPart1の「本機のお手入れ」をご覧になり、柔らかい布などで拭き取ってください。

CASE 2 キーとキーのすき間に入ってしまったら。

➡糖分を含まないお茶などの場合

柔らかい布などで水分を拭き取り、乾かしてからお使いください。乾かした後で、押したキーと画面に表示される内容が異なるなどの不具合が発生した場合は、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

➡糖分を含んだジュースなどの場合

ジュースなどは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。この場合は、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

本機のそばでは、飲食、喫煙をしないでください。飲食物やタバコの灰が本機内部に入ると故障の原因となります。

保存していないデータを消してしまった。

➜本機の使用中に電源ケーブルが抜けたり、電源スイッチを5秒以上押し続けて強制的に電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。万一のアクシデントに備えて、文章などお客様が作成されたデータファイルは、こまめに保存しておくようにしましょう。

テレビやラジオにノイズが入る。

➜本機とテレビやラジオなどの電子機器を遠ざけてください。また、本機と電子機器を別のACコンセントにつないでください。

フロッピーディスクを誤ってフォーマットしてしまった。

➜フロッピーディスクをフォーマットすると、保存していたデータは全て消去されてしまいます。市販のユーティリティソフトなどで復旧できることもありますが、確実な方法ではありません。必要なフロッピーディスクをフォーマットしないよう、十分注意してください。
重要なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクト(書き込み禁止)しておくことをおすすめします。また、念のためにバックアップをとることをおすすめします。詳しくは『ステップアップガイド』のPart1の「フロッピーディスクの内容の保護」をご覧ください。

安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった。

➜すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご購入元にご相談ください。

発煙、発火や故障の原因となります。

Windows 95の動作が非常に遅くなった。

➜ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積されたため、ハードディスクの空き領域が減り、Windows 95の動作が遅くなった可能性があります。
Windows 95のインストールされているハードディスクのアイコンにマウスポインタを合わせて右クリックした後「プロパティ」を選択し、空き領域を確認してください。空き領域が100MBより少なくなっている場合は、必要のないデータを削除したり、アプリケーションを別のハードディスクにインストールしてAドライブから削除したりしてください。

「ハードディスク」「ハードディスクの空き容量が不足してきた。保存できない。」を参照してください(☞P.38)。

電源を入れる前の準備

『はじめにお読みください』を参照したら、添付品が不足していた。

→ビニール袋などで包装されている添付品をすべて開けてみてください。
いくつかの添付品がひとつにまとめて包装されていることがあります。
それでも添付品が不足している場合は、ご購入元にご相談してください。

安全に使うための注意事項を確認したい。

→本機を安全に使うための注意事項などは、『安全にお使いいただくために』の「使用上の注意」をご覧ください。

添付品の接続のしかたが分からない。

→『はじめにお読みください』をご覧ください。

初めて電源を入れた時のトラブル

初めて電源を入れる際の操作方法や注意事項などは、『はじめにお読みください』で説明しています。初めて本機の電源を入れる前に必ずご覧ください。

Windows 95のセットアップ中に、誤って電源を切ってしまった。

セットアップ中に電源を切ると、セットアップが中断してしまい、本機が使用できなくなることがあります。

CASE 1 再度電源を入れると修復セットアップの画面が表示され、セットアップが続行される。

➔ Windows 95のセットアップは、正常に作業が終了しなかった時のためにいくつかの保護機能を備えています。修復セットアップは停電によって電源が切れた場合や接続されている機器を正しく検知できず、やむを得ず電源を切った場合、Windows 95のいくつかのファイルが破損してしまった場合などに機能します。電源を入れて修復セットアップの画面が表示された後は、セットアップを続行することができます。修復セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。

CASE 2 再度電源を入れても、「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示されてセットアップが続けられない。

➔誤った方法で突然電源を切ると、ハードディスク上のファイルが損傷してしまうことがあります。「Non-System disk」と表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows 95の修復セットアップは機能しません。
ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを終了します　よろしいですか？」というメッセージが表示された。

→「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。

Windows　95セットアップのハードウェアの検出中にコンピュータが応答しなくなった(ハングアップした)。

→Windows 95 セットアッププログラムには、修復セットアップという機能があります。セットアップのハードウェアの検出中にコンピュータが停止した場合には、いったん電源を切り、5秒以上待ってから電源を再度入れます。本機再起動後、表示されるメッセージに従い修復セットアップを選択すると、問題が起きた処理をスキップ(省略)して、セットアップが続行されます。修復ディスクが終了した後は、問題なくお使いいただけます。

Windows 95 セットアップでは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても数分～十数分画面が止まったようになることがあります。誤って電源を切らないように注意してください。

セットアップ後に名前や会社名の入力を間違えたことに気がついた。

→セットアップ時に[ユーザー情報]で登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。
変更する場合は、Windows 95の再セットアップをする必要があります。
再セットアップの方法は、『再セットアップガイド』をご覧ください。

本機起動時のトラブル

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。

CASE 1 ディスプレイの電源が入っていない。

→ディスプレイのマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

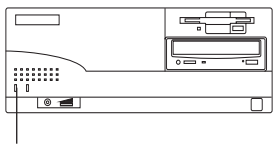
CASE 2 ディスプレイのケーブルの接続が正しくない。

→『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を確認してください。

CASE 3 本体電源ケーブルの接続が正しくない。

→この場合は、電源を入れても電源ランプが点灯しません。『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を確認してください。

電源ランプとは、本体前面にあるの刻印のあるランプのことです。



CASE 4 ディスプレイの輝度（明るさ）とコントラスト調整つまみの設定が適切でない。

→ディスプレイのマニュアルをご覧になり、それぞれの調整つまみを回してみてください。

CASE 5 本体とディスプレイの設定が合っていない。本体の設定を記憶していたメモリの内容が消えてしまい、設定が変わってしまった。

→『ステップアップガイド』のPart1の「ディスプレイ」をご覧になり、キーボードの GRPH キーと 1 キーまたは 2 キーを押しながら電源を入れます。

上記の対策を行っても画面に何も表示されない場合は、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

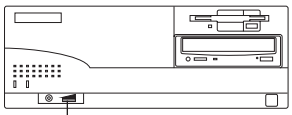
電源を入れても「ピポッ」という音がしない。

CASE 1 本体電源ケーブルの接続が正しくない。

→この場合は、電源を入れても、電源ランプが点灯しません。『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を確認してください。

CASE 2 内蔵スピーカのボリュームが小さくなっている。

→内蔵スピーカの音量調整つまみを回してみてください。



内蔵スピーカボリューム

上記の対策を行っても電源を入れて「ピポッ」という音がしない場合は、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

電源スイッチを押すと「Windowsが正しくシャットダウンされませんでした。・・・どれかキーを押してください」と表示される。

CASE 1 前回電源を切ったときに正しく電源が切れなかった。

→Windows 95では電源を切る際、作業中のファイルをディスクに記録し直すなど、いくつか処理を行うようになっています。
電源を切る処理が正しく行われなかった時にはこのようなメッセージが表示されます。この場合は、どれかキーを押してください。スキャンディスクが実行されて、ハードディスクの内容がチェックされます。
ハードディスクに異常がなければ、Windows 95が起動し、その後は問題なくお使いいただけます。正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従ってください。もし、どうしてもWindows 95が起動しないなど再セットアップする必要がある場合は、『再セットアップガイド』をご覧になり再セットアップしてください。

スキャンディスクの使い方

スキャンディスクはディスクの異常をチェックしたり、修復する時に使われます。[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[スキャンディスク]で起動できます。詳しくは、Windows 95のヘルプをご覧ください。

電源を入れると、エラーメッセージが表示される。

電源を入れたときに表示されるメッセージによって、次のような対策を行ってください。

CASE 1 電源を入れると「Non-System disk」と表示され、「ピー」と音が鳴りっぱなしになる。

➜システムが入っていないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされていませんか?
この場合は、フロッピーディスクを取り出してから、電源を入れ直して本機を再起動させるか、システムファイルが入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れ直してください。

フロッピーディスクを本体から取り出して再起動しても、「Non-System disk」が表示される場合は、ハードディスクのシステムが動作しなくなったか、ハードディスクの内容が消えてしまったか、ハードディスクのファイルが壊れてしまったと思われます。この場合は、OSやアプリケーションソフトを再セットアップ(再インストール)してください(☞『再セットアップガイド』およびアプリケーションソフトのマニュアル)。

CASE 2 電源を入れると「SET THE SOFTWARE DIP-SWITCH」と表示される。

➜システムセットアップメニューの内容が壊れていることを表しています。システムセットアップメニューを設定し直してください。システムセットアップメニューは、キーボードのHELPキーを押しながら電源を入れると起動します。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart3の「システムセットアップメニュー」をご覧ください。

CASE 3 次のようなエラーメッセージが表示される。

```
TEXT VIDEO RAM ERROR
KANJI CG RAM ERROR
MEMORY SWITCH ERROR
GRAPHICS VIDEO RAM ERROR
MEMORY ERROR XXXXX XXXX※1
TIMER ERROR
DMA ERROR
TIMER INTERRUPT ERROR
PROTECTED MODE ERROR
PARITY ERROR
PARITY ERROR XXXXX XXXX※1
SYSTEM SHUTDOWN
ADDRESS 20 LINE ERROR
ROM SUM ERROR
CACHE RAM ERROR
CACHE ERROR
SET THE SOFTWARE DIP-SWITCH※2
SIMM SETTING ERROR
```

EXTENDED GVRAM ERROR
MICON ERROR
PASSWORD DESTROYED
PROCESSOR UPDATE DATA ERROR

※1メッセージを表示後、故障検出箇所を含むメモリを128Kバイト単位でシステムから切り離し、処理を実行します。

※2 CASE2の解決方法に従い操作してください。

➡自己診断プログラムによるハードウェアチェックの結果、本体に異常が発見されたことを表しています。このような場合は、お客様が増設された周辺機器を取り外してエラーが解決するかどうか確認してください。それでもエラーが表示される場合は、ご購入元にご相談ください。

別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった。

CASE 1 本体と周辺機器が正しく接続されていない。

➡『ステップアップガイド』および周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続を確認してください。

CASE 2 割り込みレベルなどの設定に問題がある。

➡拡張ボードなどの周辺機器の中には、本機に取り付ける際に割り込みレベル、DMAチャネル、ROMアドレス空間の設定が必要となるものがあります。例えば、拡張ボードが使用しようとする割り込みレベルが本体ですでに使用されている場合、本機が起動しなくなったり、動作が不安定になることがあります。このような場合は、本体または拡張ボードのどちらかの設定を変更してください。

割り込みレベル、DMAチャネル、ROMアドレス空間の本体での使用状況などは、『ステップアップガイド』のPart3の「割り込みレベル・DMAチャネル・ROMアドレス空間」で説明しています。周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

拡張用スロットに、従来互換の拡張ボードを取り付けたり、PCI対応拡張ボードの設定を固定で使用したい場合は、本機に内蔵されている「PCIセットアップユーティリティ」を使って設定してください。

詳しくは、『ステップアップガイド』「Part2 本機の機能を拡張する」「拡張用スロット」をご覧ください。

CASE3 周辺機器の設定に問題がある。

➜周辺機器によっては、周辺機器の設定スイッチの変更が必要な場合や、ドライバなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要な設定をしてください。
また、周辺機器の割り込みやドライバなどの設定をWindows 95で確認するときは、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]で表示された[システムのプロパティ]の[デバイスマネージャ]タブを見ます。詳しくはWindows 95のヘルプをご覧ください。

パワーオンパスワードやセットアップパスワードを忘れてしまった。

➜パワーオンパスワードやセットアップパスワードが設定されているときにパスワードを忘れると、本機を使用できなくなったりシステムセットアップメニューを起動できなくなったりします。設定したパスワードは、忘れないようにしてください。パワーオンパスワード、セットアップパスワードの解除のしかたについては、『ステップアップガイド』のPart1をご覧ください。

- **セットアップパスワードを設定していない場合、使用者以外が故意に、または誤ってパワーオンパスワードやセットアップパスワードを設定してしまうと本機が使用できなくなったり、システムセットアップメニューが起動できなくなります。このような恐れがある場合は、セットアップパスワードを設定しておいてください。**
- **パワーオンパスワードやセットアップパスワードを忘れると、本機やシステムセットアップメニューを起動できなくなります。設定したパスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。**

Windows 95のパスワードを忘れてしまった。

➜Windows 95のパスワードを忘れてしまった場合、パスワードの入力画面でESCキーを押すと、Windows 95が起動して、本体は使用できますが、ネットワークには接続できなくなります。再設定したい場合には、再セットアップが必要になりますので、『再セットアップガイド』をご覧の上、再セットアップしてください。

Windows 95のパスワードは、ネットワークの設定などを行うと、設定されるようになります。ネットワークへのログインパスワードについては、ネットワーク管理者にご相談ください。

「Windows　95起動メニュー」が表示され、Safeモードで起動した。

➡あやまって設定を変更した場合や、問題のあるドライバを追加した後に、Windows 95を起動すると「Safeモード」で起動します。 Safeモードは、Windows 95がうまく起動できない時に問題を解決するために使用するものです。画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。問題がなければ次の起動時に元の状態に戻ります。Windows 95がSafeモードで起動する前に、お客様が周辺機器のドライバを追加した場合は、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイスマネージャ]タブから、追加した周辺機器のドライバを削除して再起動してみてください。問題が解決しなかった場合は、システムが壊れている可能性があります。システムが壊れている場合は再セットアップする必要があります。再セットアップの方法については『再セットアップガイド』をご覧ください。

起動時にスキャンディスクが実行された。

➡スキャンディスクは、起動または終了処理中に停電するなど、正常な終了ができなかったときに実行されます。
[結果レポート]が表示され、エラーが発見されなかった場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてください。終了後は、正常に起動します。
エラーが発見された場合は、画面の指示に従ってください。

Windows 95の操作と設定

Windows 95の基本操作について知りたい。

CASE 1 マニュアルを使って、Windowsの基本操作について知りたい。

➜Windowsの全般的な操作説明については、『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。

➜セットアップについては、『はじめにお読みください』をご覧ください。

➜本機の諸設定などの操作については、『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。

CASE 2 Windows 95の画面上で、Windows 95の基本操作について知りたい。

➜「Windows 95へようこそ」(☞P.18)または「Windows 95のヘルプでトラブルを解決する」(☞P.69)をご覧ください。

再セットアップのしかたについて知りたい。

➜『再セットアップガイド』をご覧ください。

インストールされているアプリケーションソフトについて知りたい。

➜『アプリケーション操作ガイド』をご覧ください。また、各アプリケーションソフトのヘルプもご覧ください。

別売のアプリケーションソフトについて知りたい。

➜各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

アプリケーションソフトがインストールできない。

CASE 1 本機で使用できないアプリケーションソフトをインストールしようとした。

➜アプリケーションソフトの「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。アプリケーションソフトによっては、本機では動作しないものや別売の周辺機器が必要なものがあります。詳しくは、お使いのアプリケーションソフトの製造元にお問い合わせください。

CASE 2 アプリケーションソフトのインストール先がCドライブになっている。

➜アプリケーションソフトによっては、インストール先があらかじめCドライブに設定されているものがあります。このような場合は、インストール先をお使いのハードディスクのドライブ名(本機の工場出荷時の状態では、Aドライブ)に変更してからインストールしてください。

CASE 3 Windows 95上でMS-DOSまたはWindows 3.1用のプログラムをインストールしようとしている。

➜MS-DOSまたはWindows 3.1用のプログラムの中には、Windows 95にはインストールできないものもあります。
お使いのアプリケーションソフトの製造元にお問い合わせください。

アプリケーションソフトを削除したい。

一度削除すると、再セットアップしない限り追加できなくなるアプリケーションソフトもあります。本当に削除してよいかどうか、十分ご確認ください。

➜アプリケーションソフトの削除については、『アプリケーション操作ガイド』の「Part6 アプリケーションの削除と追加」をご覧ください。
その他のアプリケーションソフトを削除するには、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]を開きます。表示された一覧の中から、削除したいアプリケーションソフトを選び[追加と削除]ボタンをクリックしてください。

ファイルが見つからない。

➜保存したフォルダやファイルが、どこに保存されているかわからなくなってしまった場合は、[スタート]ボタン→[検索]→[ファイルやフォルダ]で探すことができます。

フォルダやファイルを保存した日付がわかっている場合は、[検索]ウィンドウの[日付]タブで検索ができます。

必要なファイルを消してしまった。

➜Windows 95には、ハードディスクに保存されていたフォルダやファイルを削除しても、一時的にフォルダやファイルを保管しておく「ごみ箱」という機能があります。必要なフォルダやファイルを誤って削除した場合は、「ごみ箱」アイコンをダブルクリックして、フォルダやファイルが残っていないかどうか確認してみましょう。

「ごみ箱」にフォルダやファイルが残っている場合は、復旧させたいフォルダやファイルをクリックして、[ファイル]メニューの[元に戻す]で復旧できます。

フロッピーディスクに保存されているフォルダやファイルを削除した場合は、「ごみ箱」 には保管されないので復旧できません。

長いファイル名が使えない。

➜Windows 95では、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて半角で255文字までの「長いファイル名」を使用できます。Windows 95でMS-DOSやWindows 3.1のソフトウェアを使用した場合、これらのソフトウェア上では長いファイル名は使えません。

Windows 95を起動しても、[スタート]ボタンが表示されない。

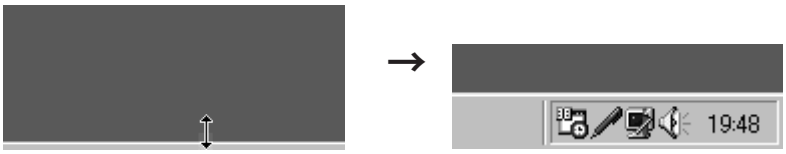
CASE 1 タスクバーの幅が狭くなり、[スタート]ボタンが表示されない状態になっている。

→次の手順でタスクバーの幅を広げて表示させてください。

1 マウスポインタを画面下に移動させる

2 マウスポインタが図のような上下の矢印に変わったらマウスの左ボタンを押しながら上方向にドラッグする

タスクバーが幅広く表示され、[スタート]ボタンが表示されるようになります。



マウスポインタを画面下に移動する　　タスクバーをドラッグして幅を広くする

CASE 2 タスクバーが「自動的に隠す」設定になっている。

→マウスポインタを画面の端まで移動すると、タスクバーが表示されます。常にタスクバーを表示させておきたい場合は、タスクバーのプロパティ画面で[自動的に隠す]のチェック(☑)を外して☐にします。タスクバーのプロパティ画面は、タスクバー上でマウスを右クリックして表示されるメニューの「プロパティ」をクリックすると表示されます。

ここをクリックして☐にする

Windowsパスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される。

CASE 1 入力したパスワードが間違っている。

➜正しいパスワードを入力してください。パスワードを入力する際は、キーボードの[かな]キーがロックされていないかどうか注意してください。

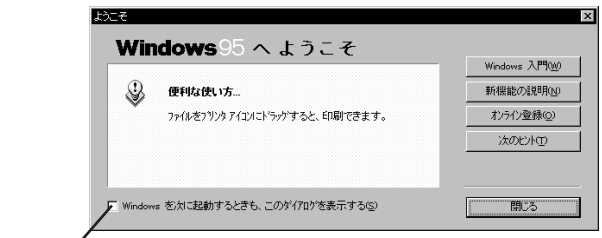
CASE 2 Windowsパスワードを忘れてしまった。

➜Windowsパスワードを忘れてしまった場合は、[Windowsログオン]の画面で新しいユーザ名でログオンを行うか、もしくはWindows 95を再セットアップする必要があります。

- **[Windowsログオン]でパスワードの入力をせずに[キャンセル]ボタンをクリックした場合は、ネットワーク上の[パスワードの保存]などの機能が使えなくなります。**
- **本機の工場出荷時の設定では、[Windowsログオン]の画面は表示されません。ネットワークの設定等を行うと表示されるようになります。**

Windows 95起動時に「Windows 95へようこそ」の画面を表示させたい。

➜[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[ヒントとツアー]をクリックすると、この画面を表示できます。
次回以降にWindows 95を起動するときにも表示させる場合は、「Windowsを起動するたびにこの画面を表示する」をクリックして☑にしてください。

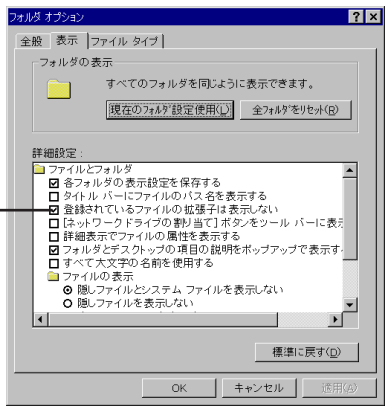


デバイスマネージャで、「スタンダードディスプレイアダプタ(9821シリーズ)」に赤い×マークが付いている。

➜本機は、2つのディスプレイアダプタを備えているため、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイスマネージャ]のタブで、「スタンダードディスプレイアダプタ(9821シリーズ)」が表示されます。×マークが付きますが「使用しない」設定になっているためで、異常ではありません。

ファイルの拡張子を表示させたい。

➜マイコンピュータやエクスプローラの[表示]メニュー→[フォルダオプション](Internet Explorer 3.02をお使いの場合は[オプション])の[表示]タブで「登録されているファイルの拡張子は表示しない」にチェックマーク(☑)がついていると、ファイルの拡張子は表示しません。ファイルの拡張子を表示させたいときは、このチェックマークを外して(☐)にしてください。



この画面は、マイコンピュータの[表示]→[フォルダオプション]で表示される画面です。

ここをクリックして☐にする

フォルダを開くと元のフォルダのウィンドウがなくなる。

工場出荷時の状態では、マイコンピュータから、ドライブやフォルダを開いていくと元のウィンドウに新しいフォルダの内容が表示され、元の内容は残らないように設定されています。次の操作を行うと、新しいフォルダを開くと、元のウィンドウとは別に新しいウィンドウが開くようになります。

CASE 1 Internet Explorer 4.0をお使いの場合

1. デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリック
2. [表示]メニューの[フォルダオプション]をクリック
3. [全般]タブをクリックし、[カスタム:選択する設定に基づきます]の○をクリックして◉にする
4. [設定]ボタンをクリック
5. [フォルダのブラウズ方法]の[フォルダを開くたびに新しいウィンドウを作る]の○をクリックして◉にし、[OK]ボタンをクリック
6. [OK]をクリック

CASE 2 Internet Explorer 3.02をお使いの場合

1. デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリック
2. [表示]メニューの[オプション]をクリック
3. [フォルダ]タブをクリックし[フォルダを開くたびに新しいウィンドウを作る]の○をクリックして◉にし、[OK]ボタンをクリック

MS-IME97使用時、Windows 3.1対応アプリケーションが使用できない。

MS-IME97を標準でご使用の状態でWindows 3.1用に開発されたアプリケーションを実行すると、まれに(主としてセットアップ時に)プログラムが停止する場合があります。次の方法でWindows 3.1対応アプリケーションの、Windows 95への対応を行ってください。なお、通常は、Windows 95への対応を行う必要はまったくありません。
そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。
また、Windows 3.1対応アプリケーションのWindows 95対応は1つのアプリケーションに対して、1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、再度、次の方法を行う必要があります。

Win.iniを変更する前にWin.iniのコピーをとっておきます
次の方法ではWin.iniを変更しますので、「手順」を実行される前に、Windows 95のフォルダ（既定値では、A:¥WINDOWS）にあるWin.iniのコピーを取っておくことをおすすめします。

1 **以下の手順でクイックビューアをセットアップする。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順8へ進む**

2 **[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]をクリック**

3 **[コントロールパネル]の中から、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリック**

4 **[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]が開いたら、[Windowsファイル]タブをクリック**

5 **[ファイルの種類]の中から[アクセサリ]をクリックし、[詳細]ボタンをクリック**

6 **[ファイルの種類]の中から[クイックビューア]の左についているチェックボックスをクリックしてチェックし、[OK]ボタンをクリック**

7 **[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]の画面で、[OK]ボタンをクリック**

クイックビューアのセットアップが行われます。

8 **Windows 95のデスクトップの画面を表示して、[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリック**

9 **症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのあるドライブまたはフォルダをダブルクリックし、実行プログラムのアイコンを右クリック。セットアップ中に症状が起きた場合は、セットアッププログラムのアイコンを右クリック**

10 **メニューから、[クイックビューア]をクリック**

選択したWindows 3.1対応アプリケーションのテクニカルファイル情報を表示するウィンドウが開きます。

11 **[モジュール名]の右側に表示されている文字をメモしておく**

ここでは仮に「ABC」とします。

12 **[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行...]をクリック**

13 **[名前]欄に「WIN.INI」と入力**

14 [OK]ボタンをクリック

[メモ帳]が起動して、Win.iniが表示されます。

15 [検索]メニューから[検索]をクリック

[検索]ダイアログが開きます。

16 [検索する文字列:]欄に「[Compatibility]」と入力

17 [次を検索]ボタンをクリック

本文内の[Compatibility]が選択されます。

18 [検索]ダイアログ内の[キャンセル]ボタンをクリック

19 キーボードのHELPキーを押す

[Compatibility]の後ろにカーソルが移動します。

20 キーボードの↵キーを押す

新しい行が作成されます。

21 手順11でメモした文字(ここではABC)を入力

22 手順21で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力(xはアルファベット小文字のエックスです)

手順20で作成された行に以下の内容が表示されます。

```
ABC=0x00400000
```

23 [メモ帳]の[ファイル]メニューから[上書き保存]をクリック

24 [メモ帳]の[ファイル]メニューから[メモ帳の終了]をクリック

メモ帳が終了します。

Windows 3.1対応アプリケーションがご使用になれます。

Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows 95では動作しないものがあります。詳しくは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

画面表示

ディスプレイは別売です。別売のディスプレイについては、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
ディスプレイの接続については、『はじめにお読みください』で説明しています。解像度と表示色、省電力機能などについては、『ステップアップガイド』で説明しています。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。

CASE 1 ディスプレイの電源が入っていない。

→ディスプレイのマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

CASE 2 ディスプレイのケーブルの接続が正しくない。

→『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を確認してください。

CASE 3 本体電源ケーブルの接続が正しくない。

→この場合は、電源を入れても電源ランプが点灯しません。『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を確認してください。

電源ランプとは、本体前面にある⏻の刻印のあるランプのことです。

CASE 4 ディスプレイの輝度（明るさ）とコントラスト調整つまみの設定が適切でない。

→ディスプレイのマニュアルをご覧になり、それぞれの調整つまみを回してみてください。

CASE 5 本体とディスプレイの設定が合っていない。本体の設定を記憶していたメモリの内容が消えてしまい、設定が変わってしまった。

→『ステップアップガイド』のPart1の「ディスプレイ」をご覧になり、キーボードの GRPH キーと 1 キーまたは 2 キーを押しながら電源を入れます。

上記の対策を行っても、画面に何も表示されない場合は、本体またはディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

CRTディスプレイの画面の色が部分的に変わる。

CASE 1 テレビや、ステレオのスピーカなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気機器がある。

➔ 電気機器の電源を切るか、本機と電気機器を遠ざけてください。

CASE 2 CRTディスプレイの画面が磁気を帯びている。

➔ 消磁機能のあるCRTディスプレイの場合は、CRTディスプレイのマニュアルをご覧になり、画面を消磁(デガウス)してください。

電源を入れた後しばらくすると、画面が真っ暗になる。

CASE 1 ディスプレイの省電力機能が働いた。

➔ この場合は、キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてください。画面が再表示されます。

ディスプレイの省電力機能の設定は、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[画面]の[スクリーンセーバー]タブで変更できます。設定の方法は、『ステップアップガイド』のPart1の「ディスプレイ」をご覧ください。

CASE 2 98Timerが働いて、本機の電源が切れた。

➔ キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてディスプレイに何も表示されなければ、98Timerが働いて、自動的に電源が切れたことが考えられるので、電源スイッチを押してください。

本機の電源が入ります。

本体の電源ランプとディスプレイの電源表示用LEDまたはパワーランプは点灯しているのに、画面が真っ暗になってしまった。

CASE 1 ディスプレイのケーブルの接続が正しくない。

➔『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を確認してください。

CASE 2 スクリーンセーバーが作動している。

➔ スクリーンセーバーを「模様なし」などに設定していると、画面には何も表示されません。この場合は、キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてください。画面が再表示されます。

CASE 3 サスペンド機能を設定している。

➡本機では、サスペンド機能は使用できないので設定しないでください。もし設定した場合は、次の手順で、サスペンド機能の設定を確認し、チェックを解除してください。

1 本体の電源スイッチを押す

2 [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]をクリック

3 [パワーマネージメント]をダブルクリックし、[電源のプロパティ]の[パワーマネージメント]タブで[詳細]ボタンをクリック

4 [詳細のプロパティ]の[詳細]タブで[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示]のチェックボックスをクリックして□(オフ)にする

5 [OK]ボタンをクリックし、さらに[電源のプロパティ]の画面でも[OK]ボタンをクリック

ディスプレイの省電力機能が設定できない。

CASE 1 Windows 95でコンピュータの電源管理をしない設定になっている。

➜［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］→［パワーマネージメント］で表示される［電源のプロパティ］の［パワーマネージメント］タブで［Windowsでコンピュータの電源管理をする］のチェックボックスをクリックして☑（オン）にしてください。ここが☑になっていないと、Windows 95上で電源の管理ができません。

CASE 2 ［ディスプレイの詳細のプロパティ］の［モニター］タブで［モニター不明］になっている。

➜［コントロールパネル］→［画面］→［ディスプレイの詳細］タブで、［詳細プロパティ］ボタンをクリックして表示される［ディスプレイの詳細プロパティ］の画面の［モニター］タブに［モニター不明］と表示されている場合は、正しくディスプレイの設定ができていないことを表しています。

『ステップアップガイド』の「ディスプレイにあわせて設定する」をご覧になり、ディスプレイの設定を直してください。

ディスプレイの解像度などの変更をする際、「ディスプレイの種類が指定されていません・・・」というメッセージが表示される。

CASE 1 ［ディスプレイの詳細プロパティ］の［モニター］タブで［モニター不明］になっている。

➜［コントロールパネル］→［画面］→［ディスプレイの詳細］タブで、［詳細プロパティ］ボタンをクリックして表示される［ディスプレイの詳細プロパティ］の画面の［モニター］タブに［モニター不明］と表示されている場合は、正しくディスプレイの設定ができていないことを表しています。
『ステップアップガイド』の「ディスプレイにあわせて設定する」をご覧になり、ディスプレイの設定を直してください。

アイコンの表示がおかしい。

➔［コントロールパネル］の［画面］または［画面へのショートカット］で［ディスプレイの詳細］タブをクリックすると［カラーパレット］の設定ができますが、［カラーパレット］を［High Color］または［True Color］に設定した状態で［デザイン］タブのページにある項目の設定を変更すると、ウィンドウ内のアイコンの表示がおかしくなる場合があります。この場合は、［画面］を起動して［デザイン］タブをクリックし、［指定する部分］でウィンドウを違う色に変更するとアイコン表示がもとに戻ります。

マウスポインタが見にくい。

CASE 1 マウスの表示速度が適切ではない。

➔表示速度を遅くしたり、ポインタの軌跡を残すように設定することで、マウスポインタが見やすくなることがあります。［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］→［マウス］の［動作］タブでマウスポインタの表示速度を調節できます。

画面の表示位置やサイズがおかしい。

➔ディスプレイで画面の表示位置やサイズを調節できることがあります。詳しくは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。

➔GRPHキーを押したまま↵キーを押してください。

ハードウェアウィザードを起動してドライバのインストールを実行して再起動したら、解像度が変わってしまった。

➔ドライバをインストールして再起動すると、解像度が工場出荷時の設定（640×480ドット）に戻ることがあります。これはディスプレイアダプタに「スタンダードディスプレイ（9821シリーズ）」が選択されているためで、このような場合は、次の方法で本機に適したディスプレイアダプタに変更してください。

1 **［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］をクリック**

2 **［システム］をダブルクリックし、［デバイスマネージャ］タブをクリック**

3 **[ディスプレイアダプタ]の下の[PC-9821**/**]([**/**にはそれぞれお使いの機種に対応した型名がはいります)をダブルクリックして、[すべてのハードウェア環境で使用する]のチェックボックスを☑(オン)にする**

4 **[OK]ボタンをクリック**

5 **[ディスプレイアダプタ]の下の[スタンダードディスプレイアダプタ(9821シリーズ)]をダブルクリックして、[このハードウェア環境で使用不可にする]のチェックボックスを☑(オン)にする**

6 **[OK]ボタンをクリック**

[システム設定の変更]画面に「Windowsを終了しますか?」と表示されます。

7 **[はい]ボタンをクリック**

Windowsが終了し、本機の電源が自動的に切れます。

8 **本機の電源スイッチを入れる**

9 **[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[画面]アイコンをダブルクリック**

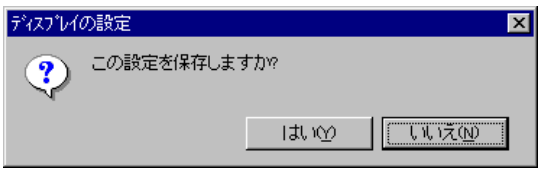
10 **[設定]タブをクリック**

11 **[画面の領域]の▯をドラッグして、これまで使っていた表示モードにする**

工場出荷時の設定は、[640×480ドット]です。

12 **[OK]ボタンをクリックし、さらに次の画面でも[OK]ボタンをクリック**

しばらくすると、以下のような画面が表示されます。



13 **[はい]ボタンをクリック**

15秒以内に[はい]ボタンをクリックしないと元の画面に戻ります。

表示が切り替わります。

キーボード、マウス

キーボードとマウスの接続、基本的な使い方については、『はじめにお読みください』、『ステップアップガイド』で説明しています。各種設定などについては、Windows 95のヘルプをご覧ください。

キーボードのキーを押したり、マウスを動かしても何も反応しない。

CASE 1 キーボード、マウスが本体に正しく接続されていない。

➡キーボード、マウスのコネクタが抜けていたり、取り付けられているようでも奥まで差し込まれていないなど、接続が不完全になっていることがあります。接続については『はじめにお読みください』をご覧ください。

CASE 2 ユーザ補助の「マウスキー機能を使う」の設定が☑(オン)になっている。

➡[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[ユーザー補助]の[マウス]タブで、「マウスキーを使う」のチェックボックスをクリックして☐(オフ)にしてください。

使用中に突然キー入力やマウスの操作ができなくなった。

CASE 1 Windows 95がプログラムの処理をしているため、キー入力やマウスの操作を受け付けられない。

➡本機の処理能力を使いきってしまうようなアプリケーションソフトなどを使用すると、一時的にキーボードからの入力やマウスの操作が受け付けられなくなることがあります。この場合は、処理が終わるまでしばらく待ってみてください。

Windows 95がプログラムの処理をしているときは、マウスポインタが砂時計の形に変わります。

CASE 2 Windows 95が止まってしまって（ハングアップして）いる。

➡プログラムの予想外の動作によって、Windows 95の動作が止まってしまうことがあります。この場合は原因となったアプリケーションソフトを強制的に終了することで、Windows 95の操作が続けられます。
しかし、キーボードやマウスからの入力をまったく受け付けなくなるなど、ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約5秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。この場合、作成中のデータは消えてしまいます。

Windows 95セットアップ中には、正常に処理が行われていても数分～数十分画面が止まったように見えることがあります。誤って電源を切らないように注意してください。

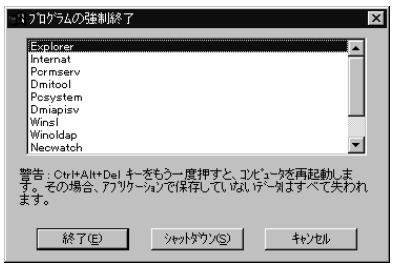
強制終了の方法

Windows 95が止まってしまった場合に、アプリケーションソフトを終了する方法は次の通りです。

キーボードのCTRLキーとGRPH（Alt）キーとDELキーを同時に押すと、[プログラムの強制終了]が表示されます。

プログラム名の後に[応答なし]と表示されている項目を選択して、[終了]ボタンをクリックします。

[プログラムの強制終了]が表示されない場合は、 電源スイッチを約5秒以上押し続けて本機の電源を強制的に切ってから、もう一度電源を入れてください。プログラムを強制終了したり、電源スイッチを押したりすると、それまでに保存しておかなかったデータは消えてしまいます。



ウィンドウが画面から切れてしまっていて操作できない。

➡本機を低解像度(640×480ドットなど)で表示している場合は、ウィンドウが画面から切れてしまうことがあります。
そのような場合は、次の方法で、操作できる位置までウィンドウを移動させてください。

- **操作中のウィンドウのタイトルバーをドラッグして操作できる位置まで移動する。**

Windows 95で日本語入力をするには?

『ステップアップガイド』「Part1 本機の基礎知識」「キーボード」をご覧ください。

日本語入力ができない。

CASE 1 日本語入力システムがONになっていない。

➡アプリケーションソフトによっては日本語入力をONにしていても、ウィンドウが切り替わると、自動的に日本語入力をOFFにするものがあります。
自動的にOFFになった場合は、キーボードのCTRLキーを押しながら、XFERキーを押すか、タスクバーの日本語入力インジケータをクリックして[日本語入力-オン]をクリックして、もう一度日本語入力をONにしてください。

CASE 2 海外ゲーム対応ユーティリティの機能がONになっている。

➡海外ゲーム対応ユーティリティをONにすると日本語入力ができなくなります。
タスクバーに表示されているを左クリックして、にして海外ゲーム対応ユーティリティをOFFにしてください。
または、を右クリックし表示されたメニューから[終了]をクリックしてください。

キーボードのCTRLキーを押しながらXFERキーを押しても、日本語入力システムのON/OFFができない。

CASE 1 海外ゲーム対応ユーティリティの機能がONになっている。

➡海外ゲーム対応ユーティリティをONにすると日本語入力ができなくなります。
タスクトレイに表示されているを左クリックして、にして海外ゲーム対応ユーティリティをOFFにしてください。
または、を右クリックして、表示されたメニューから[終了]をクリックしてください。

CASE 2 キーボードのプロパティ情報が、キーボードのXFERキーで切り替える設定になっている。

➜［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］→［キーボード］から［情報］タブを開いてください。「日本語入力モードの切り替えキー」の「XFER」に(●)が付いていないか確認してください。この場合、CTRLキー＋XFERキーではなく、XFERキーを押すだけで日本語入力システムをON/OFFすることができます。

CASE 3 キーボードの⊞(Windowsキー)を押した直後である。

➜キーボードの⊞(Windowsキー)を押した後では、キーボードのCTRLを押しながらXFERを押す方法で、日本語入力システムのON/OFFを行うことはできません。タスクトレイの日本語入力インジケータ(✎)をマウスでクリックして、日本語入力をON/OFFにしてください。

キーのロックと表示される文字

CAPSキーやかなキーをロックしているときにBキー、Oキー、Oキー、Kキーと順番に押した場合、それぞれ次のように表示されます。

何もロックされていない場合	book
CAPSキーがロックされている場合	ＢＯＯＫ
かなキーがロックされている場合	ｺﾗﾗﾉ
日本語入力モードの場合 (CAPSキー、かなキーがロックされていない場合)	ぼおk

キーの入力の速度を変更したい。

➡[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[キーボード]の[速度]タブで、入力した文字を表示するまでの待ち時間や、表示の間隔を調整できます。

キーボードで押したキーと違う文字が表示される。

CASE 1 キーボードのCAPSキーまたはかなキーがロックされている。

➡キーボードのCAPSキーまたはかなキーを一度押して、ロックを解除します。

CASE 2 日本語入力モードになっている。

➡キーボードの CTRLキーを押しながら XFERキーを押して、日本語入力モードを終了します。

CASE 3 海外ゲーム対応ユーティリティの機能がONになっている。

➡海外ゲーム対応ユーティリティをONにすると日本語入力ができなくなります。タスクトレイに表示されている⌨を左クリックして、🎮にして海外ゲーム対応ユーティリティをOFFにしてください。
または、⌨を右クリックし表示されたメニューから[終了]をクリックしてください。

キーボードからWindowsを操作する

Windows 95はある程度キーボードからも操作できます。
たとえば、[コントロールパネル]の[マウス]を起動するには次のようにします。
①⊞キーを押し、↑↓←→キーを使って[設定]→[コントロールパネル]を選択して、↵キーを押します。
②↑↓←→キーを使って[マウス]アイコンを選択して、↵キーを押します。
マウスのプロパティの画面が表示されたら、項目やタブの切換にはTABキーや↑↓←→キーを利用します。
項目を選択したら↵キーを押すと決定されます。キャンセルしたいときにはESCキーを押します。

マウスの動きが悪くなった。

CASE 1 マウスの内部が汚れている。

➔『ステップアップガイド』のPart1の「本機のお手入れ」をご覧になり、マウスの内部を掃除してください。

ダブルクリックがやりにくい。

➔［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］→［マウス］でマウスの設定を変更できます。ダブルクリックの速度を好みの速度に変更すると、ダブルクリックがしやすくなります。

また、Internet Explorer 4.0をお使いの場合は次の手順でクリック方法を変更することもできます。

1. **デスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリック**
2. **［表示］メニューの［フォルダオプション］をクリック**
3. **［全般］タブをクリックし、［カスタム：選択する設定に基づきます］の○をクリックして◉にする**
4. **［設定］ボタンをクリック**
5. **［クリック方法］から選び、［OK］ボタンを押す**
6. **［閉じる］ボタンをクリック**

MS-DOSプロンプトで別売のMS-DOS用の日本語入力システム(FEP)がうまく組み込めない。

➔CONFIG.SYS内に次の一行を追加してください。

DEVICE=A:¥WINDOWS¥KKCFUNC.SYS

他の日本語入力システムに関する記述がCONFIG.SYS内にある場合は、それよりも前に追加してください。ただし、この方法で使用できるようになるのは、KKCFUNC.SYSに対応している日本語入力システムのみです。

日本語入力システムの切り替え方と設定方法

●日本語入力システムの切り替え方

本機には、MS-IME97がインストールされています。日本語入力システムの切り替えは、［コントロールパネル］→［キーボード］の［言語］タブで行います。

●日本語入力システムの設定の変更方法

日本語入力システムの設定の変更は、日本語入力システムそれぞれのヘルプをご覧ください。ヘルプの起動方法については、『ステップアップガイド』のPart1の「キーボード」をご覧ください。

タイマー機能

98Timer機能を利用して電源が入らない。

CASE 1 本機の電源ケーブルがACコンセントに接続されていない。

➡98Timerをセットするときには、本機の電源ケーブルをACコンセントに接続してください。

CASE 2 Windowsパスワードが設定されている。

➡ネットワークの設定等を行うと、起動時にWindowsパスワードを入力するようになります。パスワードを入力しないと、Windows 95は起動できませんので、98Timerを利用して自動的に電源を入れる場合は、Windowsパスワードを設定しないでください。

CASE 3 パワーオンパスワードが設定されている。

➡98Timerを使用するときは、システムセットアップメニューの「セキュリティの設定」の「パワーオンパスワード」を{使用しない}に設定してください(☞『ステップアップガイド』のPart3の「システムセットアップメニュー」)。

CASE 4 固定ディスク起動メニューが表示されるようにしてある。

➡固定ディスク起動メニューが表示されないように設定してください。詳しくは、『再セットアップガイド』の付録の「固定ディスク起動メニューの利用」をご覧ください。

98Timer機能を利用して電源が切れない。

CASE 1 終了時に操作の必要なアプリケーションソフトが起動している。

➡データの保存など、終了時になにか操作を必要とするアプリケーションソフトが起動している場合、電源は切れません。98Timerを利用するときは注意してください。

フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクのセットのしかたやフロッピーディスクの使用上の注意事項などは、『ステップアップガイド』で説明しています。

フロッピーディスクドライブが使用できない。

CASE 1 本機にFD I/Oロックが設定されている。

➔ フロッピーディスクドライブを使用するときは、システムセットアップメニューを起動して「セキュリティ」でFD I/Oロックを{設定しない}にしてください。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart3の「セキュリティの設定」をご覧ください。

フロッピーディスクの内容が読み込めない。

CASE 1 フロッピーディスクが正しくセットされていない。

➔ ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、フロッピーディスクドライブの奥まで入れてください。

CASE 2 フォーマット形式の異なる他のOS用のフロッピーディスクがセットされている。

➔ 起動しているOSで使用できるフロッピーディスクをセットし直します。

CASE 3 フォーマットされていない新品のフロッピーディスクがセットされている。

➔ フォーマット済みのフロッピーディスクを使うか、フロッピーディスクをフォーマットします。
フロッピーディスクのフォーマットのしかたは、『ステップアップガイド』のPart1の「フロッピーディスクドライブ」をご覧ください。

CASE 4 フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れている。

➔ 別売のクリーニングディスクを使ってヘッドの掃除をしてください。

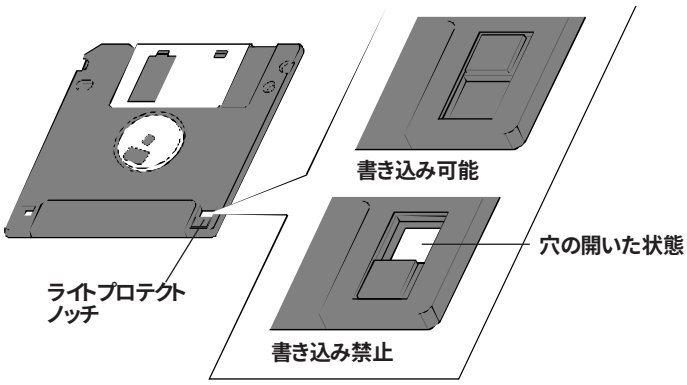
クリーニングディスクについては、ご購入元またはNECサービスステーションにお問い合わせください。

CASE 5 フロッピーディスクの内容が壊れている。

➔ この場合、復旧は困難です。フロッピーディスクの内容が壊れてしまった場合に備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。フロッピーディスクのバックアップを取る方法については、『ステップアップガイド』のPart1の「フロッピーディスクドライブ」、またはWindows 95のヘルプをご覧ください。

フロッピーディスクの読み込みはできても、書き込みがまったくできない。

➡ライトプロテクトノッチがPROTECT(書き込み禁止)になっているとデータの書き込みができなくなります。この場合、ライトプロテクトノッチをPERMIT(書き込み可能)の方にずらします。



システムディスクなど大切なフロッピーディスクの場合は、本当に書き込みをしてよいか、もう一度確認しましょう。

飲み物をこぼしてフロッピーディスクを汚してしまった。

➡本体の故障の原因となるため、汚れたフロッピーディスクは使用しないでください。フロッピーディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまった場合に備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。フロッピーディスクのバックアップを取る方法については、『ステップアップガイド』のPart1の「フロッピーディスクドライブ」、またはWindows 95のヘルプをご覧ください。

5インチのフロッピーディスクを使いたい。

➡本体に5インチフロッピーディスクユニットを接続すると、5インチフロッピーディスクが使用できるようになります。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart2の「フロッピーディスクドライブを増設する」をご覧ください。

ハードディスク

ハードディスクのバックアップや増設の方法は、『ステップアップガイド』で説明しています。

ハードディスクの領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない。

➔ カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域確保する際には、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイト、1Gバイト=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824バイトで計算していますので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

内蔵ハードディスクが使用できなくなった。

CASE 1 システムセットアップメニューの設定で、本体内蔵ハードディスクが使用できない状態になっている。

➔ システムセットアップメニューの「ディップスイッチ2の設定」で「内蔵固定ディスク」が{切り離す}に設定されていると、内蔵ハードディスクが使用できません。システムセットアップメニューについては、『ステップアップガイド』のPart3の「システムセットアップメニュー」をご覧ください。

上記の対策を行っても内蔵ハードディスクが使用できない場合は、『再セットアップガイド』をご覧になり、OSを再セットアップして、正常に動くかどうか確認してください。それでも内蔵ハードディスクが使用できない場合は、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ハードディスクに障害がおきた。

➔ 軽い障害であれば、スキャンディスクプログラムを使って修復することができます。詳しくは、本書のPart2「トラブル解決入門」(☞.P.59)または『ステップアップガイド』Part1「ハードディスク」をご覧ください。

固定ディスク起動メニューを表示させたい。

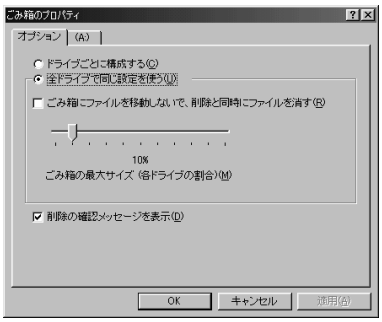
➔固定ディスク起動メニューとは、電源を入れた時に、起動するドライブを選択するメニューのことです。
固定ディスク起動メニューを表示させる方法は、『再セットアップガイド』の付録の「固定ディスク起動メニューの利用」をご覧ください。

ハードディスクの空き容量が不足してきた。保存できない。

➔ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

●「ごみ箱」を空にする。または「ごみ箱」の最大サイズを小さくする。

Windows 95では、ファイルを削除すると、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」にファイルが移動します。
この機能により、うっかりファイルを消してしまっても復旧が簡単にできますが、その分ハードディスクの空き容量が減ります。この場合は、「ごみ箱」を空にするか、最大サイズを小さくしてください。
ごみ箱の設定は、[ごみ箱]アイコンを右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックして表示される[ごみ箱のプロパティ]のウィンドウで行います。



●TEMPフォルダの中身をチェックする。

アプリケーションソフトによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイルと呼ばれます)を作成し、通常は、終了時に消去されます。しかし、このようなアプリケーションソフトを使用中に強制終了してしまった場合、一時作業用ファイルがハードディスクに残り、ハードディスクの空き容量が少なくなってしまうことがあります。
一時作業用ファイルは通常、Windowsフォルダの一階層下のTEMPフォルダに作成されます。このように不要になった一時作業ファイルを削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

アプリケーションの実行中には、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。削除は、すべてのアプリケーションの終了後に行ってください。

●インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する。

インターネットエクスプローラで、すでに表示したページを後で参照する必要がない場合は、次の方法でハードディスクの空き容量を増やすことができます。

CASE 1 Internet Explorer 4.0をお使いの場合

→次の手順で設定を行なってください。

1. **[スタート]ボタン→[プログラム]→[インターネットエクスプローラ]をクリック**
2. **[表示]メニューの[インターネットオプション]をクリック**
3. **[全般]タブの[ファイルの削除]ボタンをクリック**
4. **[OK]ボタンをクリック**

CASE 2 Internet Explorer 3.02をお使いの場合

→次の手順で設定を行なってください。

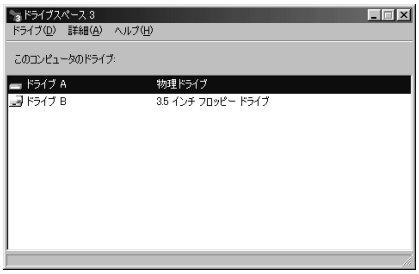
1. **[スタート]ボタン→[プログラム]→[インターネットエクスプローラ]をクリック**
2. **[表示]メニューの[オプション]をクリック**
3. **[詳細設定]タブの[設定]ボタンをクリック**
4. **[フォルダを空にする]ボタンをクリックして、[はい]ボタンをクリック**
5. **[OK]ボタンをクリック**

●インストールされているアプリケーションソフトを削除する。

本機にインストールされているアプリケーションソフトを使わない場合は、ハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。詳しくは、『アプリケーション操作ガイド』をご覧ください。別売のアプリケーションソフトの削除については、そのアプリケーションソフトに添付されているマニュアルをご覧ください。

●ドライブスペース3を利用する。

ドライブスペース3を使ってハードディスクを圧縮すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。ただし、FAT32に変換したハードディスクにはご利用になれません。詳しくは、Windows 95のヘルプをご覧ください。



ハードディスクを使っているとき、本体から小さな音がする。

➜ハードディスクアクセスランプの点滅と合わせて、本体から小さな音がする場合がありますが、これはハードディスクドライブの動作によるもので異常ではありません。ご心配の場合には、ご購入元にご相談ください。

ハードディスクの動作速度が遅い。

➜ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このような、ばらばらになったデータを最適な場所に整理するには、「デフラグ」を行ってください。
詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「ハードディスク」をご覧ください。

バックアップについて

本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読みとる磁気ヘッドの間は、わずか数ミクロン(1ミクロンは1/1000ミリ)しか空いていません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセス表示用LEDの点灯中には、少しの衝撃でも故障の原因となることがあります。
大切なデータを保護するためにも、バックアップをこまめにとることをおすすめします。
バックアップのとり方は、『ステップアップガイド』のPart1の「ハードディスク」をご覧ください。

CD-ROMドライブ

CD-ROMのセットのしかたやCD-ROMドライブの使用上の注意事項などは、『ステップアップガイド』をご覧ください。

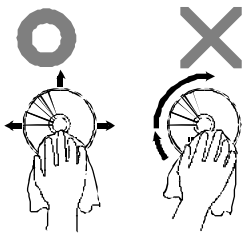
CD-ROMのデータが読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びがする。

CASE 1 CD-ROMが正しくセットされていない。

→CD-ROMの表裏を確認して、本体のCDトレイの中心にセットしてください。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「CD-ROMドライブ」をご覧ください。

CASE 2 CD-ROMが汚れている。

→CD-ROMが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使用してください。



CASE 3 CD-ROMに傷が付いている。

→傷が付いているCD-ROMは使用できません。本機に添付されているCD-ROMが、傷が付くなどして使用できなくなった場合は、「CD-ROMを交換したい」(☞P.55)をご覧ください。

CASE 4 本機になんらかの振動を与えた。

→振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

CASE 5 本機で使用できないCD-ROMを使用している。

→本機で使用できるCD-ROMを使用してください。

CD-ROMは、一般に各OSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 95を使用する場合は、Windows 95に対応したCD-ROMを使用してください。

CASE 6 音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れした。

➡音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。

CD-ROMドライブのトレイが出し入れできない。

CASE 1 本機の電源が切れている。

➡本機の電源が切れている状態では、ディスクトレイイジェクトボタンを押してもディスクトレイは出し入れできません。
本機の電源を入れて、ディスクトレイイジェクトボタンを押してください。

本機が故障した場合にディスクトレイを強制的に出す方法は、『ステップアップガイド』のPart1の「CD-ROMドライブ」で説明しています。

ビデオCDなど、MPEG形式の動画データのCDが音飛びする。また、画像がなめらかに再生されない。

CASE 1 動画データ再生中に、他のアプリケーションソフトを実行している。

➡他のアプリケーションソフトを終了させてください。

CASE 2 動画データ再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えた。

➡動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。動画の再生中にはウィンドウの大きさや位置を変えないようにしてください。

ビデオCDなど、MPEG形式の動画データのCDの再生中、再生画面が消えてしまう。

CASE 1 再生中にディスプレイの省電力機能が実行された。

➡ビデオCDなど、MPEG形式のデータ再生中にディスプレイの省電力機能が実行されると、再生動画が消えてしまいます。動画データ再生中にはディスプレイの省電力機能を実行しないように設定してください。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい。

➡Windows 95のMS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使用する方法は、『ステップアップガイド』の付録の「Windows 95でMS-DOSモードを利用する」で説明しています。

印刷

プリンタの接続、プリンタの設定などについては、『ステップアップガイド』で説明しています。プリンタのマニュアルとあわせてご覧ください。

プリンタが使用できない。

CASE 1 本機にプリンタ I/0ロックが設定されている。

➔ プリンタを使用するときは、システムセットアップメニューを起動して「セキュリティ」でプリンタ I/0ロックを{設定しない}にしてください。
詳しくは、『ステップアップガイド』のPart3の「セキュリティの設定」をご覧ください。

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される。

プリンタでうまく印刷できない場合は、大きく分けて次の2種類の原因が考えられます。

・プリンタの接続などのハードウェアに問題がある場合

・プリンタドライバの設定が間違っているなどソフトウェアに問題がある場合

●ハードウェアに問題がある場合

CASE 1 プリンタの電源が切れている。

➔プリンタのマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

CASE 2 接続ケーブルが外れたり、接触不良を起こしている。

➔『ステップアップガイド』のPart2の「プリンタを使う」をご覧になり、プリンタケーブルを確実に接続してください。

CASE 3 プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになっている。

➔プリンタのマニュアルをご覧になり、用紙やトナー、インクを補充してください。

CASE 4 プリンタが印刷可能(オンライン)になっていない。

➔プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。
また、プリンタのマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。

CASE 5 プリンタ本体の印字テストを行っても、正常に印刷できない。

→プリンタには通常、プリンタ単体でテスト印字をする機能があります。この機能を使ってプリンタのチェックをしてみてください。テスト印字ができない場合、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

CASE 6 プリンタメーカ推奨のプリンタケーブルを使用していない。

→プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使用しないと印刷に不具合が発生するものもあります。プリンタのマニュアルをご覧になり、ケーブルを確認してください。

●ソフトウェアに問題がある場合

CASE 1 プリンタドライバがセットアップされていない。

→新規にプリンタを接続した場合は、プリンタドライバのセットアップを行う必要があります。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart2の「プリンタを使う」をご覧ください。

接続後、電源を入れた時に自動的にドライバをインストールするようになっているプリンタ（プラグ&プレイ対応）であっても、「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」が表示されることがあります。その場合には、[キャンセル]ボタンをクリックしてドライバのインストール画面を終了し、『ステップアップガイド』のPart2の「プリンタの設定をする」の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

CASE 2 プリンタドライバの設定が正しくない。

→次の手順で、設定を行ってください。

1 [スタート]ボタン→[設定]→[プリンタ]でプリンタフォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンを右クリックして、メニューから[プロパティ]を選択する

インストールしたプリンタのプロパティが表示されます。

右クリックしたときに、[通常使うプリンタ]にチェックが付いていることを確認してください。付いていない場合は、チェックを付けてください。

2 プロパティの[情報]タブの[印字テスト]のボタンをクリックして印字テストを行う

テスト印字が正常に実行されない場合は、Windows 95のヘルプを使用して設定を行ってください。

CASE3 CASE1、CASE2の設定を行っても印刷できない。

→この場合は、プリンタのセットアップをやり直してみます。

1 **プリンタフォルダを開き、問題があるプリンタのアイコンをクリック**

2 **［ファイル］メニューをクリックして、［削除］を選択してプリンタを削除する**

3 **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、プリンタを再セットアップする プリンタのマニュアルを見て、画面に表示されるメッセージに従ってセットアップする**

LANに接続されたプリンタから印刷できない。

→プリンタがLANに接続されている場合は、ルータおよびマルチポートリピータの電源を確認してください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)

・LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
・ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。

ネットワークへの接続方法がわからない。

➔『ステップアップガイド』の「LANに接続する」をご覧になり、ネットワークボードを正しく接続してください。また必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない。

接続後はデスクトップの［ネットワークコンピュータ］からLANを使用します。このウィンドウには本機と、同じネットワークに接続しているほかのコンピュータが表示されます。

CASE 1 ネットワークコンピュータに［ネットワーク全体］のアイコンしか表示されない。

➔ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。その場合は、しばらく待ってから［表示］→［最新の情報に更新］を実行してください。それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

CASE 2 ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない。

➔接続しようとしているワークグループが一致しているか確認してください。設定されているワークグループは、［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンで調べることができます。

エラーメッセージが表示される。

➔本機が内蔵するネットワークインターフェイスは、最高で100Mbpsのデータ転送速度を持っています。この高速なデータ転送を利用するためには、必ずカテゴリ5のリンクケーブルを使用してください。それ以外のリンクケーブルを使用すると、転送途中のノイズ等が原因となってエラーになることがあります。

共有ファイルやフォルダが使えない。

ネットワーク上で、お客様がご使用になるコンピュータと他のコンピュータでファイルを交換するためには設定が必要になります。

CASE 1 「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない。

➜ [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の[ネットワーク]アイコンで[ネットワークの設定]をご確認ください。「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていないと、共有ファイルやフォルダ、ネットワーク上のプリンタとしてお使いになれません。このサービスは[ネットワークの設定]タブの[ファイルとプリンタの共有]ボタンを押すと組み込まれます。

CASE 2 お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていない。

➜ 共有ドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダ、またはファイルを右クリックし、表示されたメニューの中から[共有]をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

CASE 3 共有フォルダやファイルにアクセス権が設定されている。

➜ 共有フォルダやファイルには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザーからは、読み取りはできても書き込むことはできません。

本機の動作環境の設定

動作環境の設定については、『ステップアップガイド』のPart3の「動作環境の設定」をご覧ください。

メモリスイッチの設定が変更できない。

CASE 1 システムセットアップメニューの「ディップスイッチ2の設定」の「メモリスイッチ」が{初期化する}になっている。

→メモリスイッチの内容を変更したときは、必ずシステムセットアップメニューの「ディップスイッチ2の設定」の「メモリスイッチ」を{保持する}にしてください。

メモリスイッチが{初期化する}に設定されていると、本機の起動のたびにメモリスイッチが工場出荷時の設定に戻ってしまい、変更が反映されません。

メモリスイッチ、システムセットアップメニューの変更方法は、『ステップアップガイド』のPart3の「システムの設定を変更する」をご覧ください。

CASE 2 Windows 95の[MS-DOSプロンプト]ウィンドウからSWITCHコマンドを起動している。

→[MS-DOSプロンプト]ウィンドウからはSWITCHコマンドは使用できません。Windows 95からメモリスイッチを変更するには、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[98環境]を利用するか、または本機をMS-DOSモードで再起動してから、SWITCHコマンドを起動してください。

98環境設定ユーティリティは、出荷時の状態では、本機にインストールされていません。『アプリケーション操作ガイド』をご覧のうえ、「98環境設定ユーティリティ」をインストール後、上記の手順でお使いください。

その他

どのような種類の周辺機器が取り付けられるのかを知りたい。

➜『ステップアップガイド』のPart2および周辺機器のマニュアルをご覧ください。
また、インターネットのホームページ「98Information」の「PC-9800」で周辺機器の情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。
http://www.nec.co.jp/98/

別売の周辺機器の取り付け方と設定のしかたを知りたい。

➜『ステップアップガイド』のPart2および周辺機器のマニュアルをご覧ください。

このパソコンで使っている割り込みレベルを知りたい。

➜工場出荷時の状態は、『ステップアップガイド』のPart3「割り込みレベル・DMAチャネル・ROMアドレス空間」をご覧ください。
現在の割り込みレベルについては、「デバイスマネージャ」の「コンピュータのプロパティ」で参照してください。

メモリチェックで表示されるメモリの容量が実際の容量より少ない。

➜本機では、「16Mバイトシステム空間」と呼ばれるメモリアドレスF00000h～FFFFFFhの領域を、OSや拡張ボードが使用します。
このため、実際に使用できるメモリ容量を表すメモリチェックでは、約0.4Mバイト少なく表示されます。

表示される日付と時刻が正しくない。

CASE 1 なんらかの操作ミスなどにより、日付と時刻を記憶していたメモリの内容が変わってしまった。または、もともと設定されていなかった。

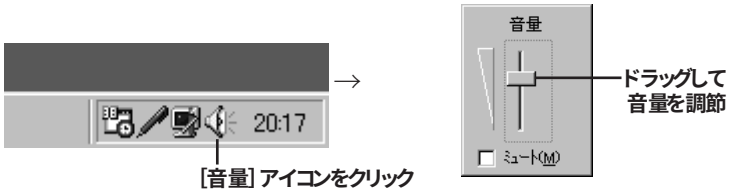
➔［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］→［日付と時刻］で、日付と時刻を設定し直します。

本体内蔵のカレンダ時計は、電源を切っていても動いています。ただし、ご購入時や長い間（約2カ月間）本体の電源を入れない場合は、日付と時刻を再設定する必要があります。本体の電源を約40時間入れたままにして、カレンダ時計用の電池を充電してください。

内蔵スピーカからの音が出ない、または大きすぎる。

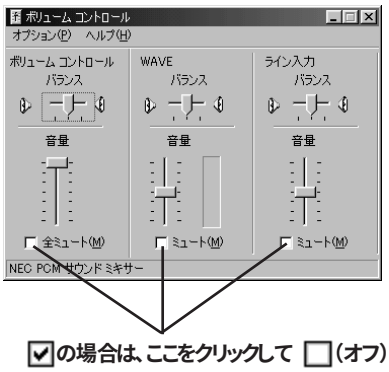
CASE 1 音量調節のボリュームが合っていない。

➔内蔵スピーカの音量調整つまみを回して適当な音量に調節してください。または、タスクバーの［音量］アイコンをクリックして、表示される画面で音量を調整します。



CASE 2 ミュートがかかっている。

➔［スタート］ボタン→［プログラム］→［アクセサリ］→［マルチメディア］→［ボリュームコントロール］の画面で［ミュート］のチェック(☑)を外して、☐にします。



マイクロホンを使用するとキーンと音が出る(ハウリング現象)。

CASE 1 内蔵スピーカの音量が大きすぎる。

➔内蔵スピーカの音量調整つまみを回して音量を小さくしてください。

CASE 2 入力レベル調節のボリュームが大きすぎる。

➔Windows 95でお使いの場合、［スタート］ボタン→［プログラム］→［アクセサリ］→［マルチメディア］→［ボリュームコントロール］の画面で調整します。ボリュームコントロールについては、『ステップアップガイド』をご覧ください。
MS-DOSモードでお使いの場合、システムセットアップメニューでマイクボリュームを小さくしてください。

CASE 3 マイクロホンを内蔵スピーカに近づけすぎている。

➔マイクロホンを内蔵スピーカから遠ざけてください。

シリアルインターフェイスが使用できない。

CASE 1 本機に1st CCU I/Oロックまたは2nd CCU I/Oロックが設定されている。

➔シリアルインターフェイスを使用するときは、システムセットアップメニューを起動して「セキュリティ」で1st CCU I/Oロックと2nd CCU I/Oロックの両方を同時に{設定しない}にしてください。
詳しくは、『ステップアップガイド』のPart3の「セキュリティの設定」をご覧ください。

CASE 2 システムセットアップメニューの「動作環境の設定」の「2nd CCU」が{使用しない}に設定されている。

→『ステップアップガイド』のPart3の「システムセットアップメニュー」をご覧になり、「2nd CCU」を{使用する}に設定してください。

ダイヤラーで、ダイヤルが正常に実行できない。

→[ダイヤル中]ダイアログボックスの[オプションの変更]ボタンをクリックし、[リダイヤルする番号]の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからリダイヤルしてください。

通信が切断されたり、動作が不安定になる。

→FAX等の通信アプリケーションを使用中に、デバイスマネージャにおいて[更新]の実行を行わないでください。

シリアルコネクタやFAXモデムボードを使用した通信時に、文字落ちなどが発生する。

CASE 1 パワーマネージメントを使用する設定になっている。

→次の方法でパワーマネージメントを使用しない設定にしてください。

1 [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]をクリック

2 [パワーマネージメント]をダブルクリック
[電源のプロパティ]の画面が表示されます。

3 [Windowsでコンピュータの電源管理をする]のチェックボックスをクリックして□(オフ)にする

4 [OK]ボタンをクリック

Windows 95以外のOSを使いたい。

→本機では、Windows 95以外に以下のOSを使うことができます。詳しくは、『再セットアップガイド』の「Part2 他のOSを利用する」をご覧ください。

- MS-DOS 6.2
- Windows 98/3.1
- Windows NT 4.0/3.51
- OS/2 Warp V3-日本語版
- OS/2 Warp Connect V3-日本語版
- OS/2 Warp V4-日本語版
- NetWare 3.12J/4.1J/4.11J
- IntranetWare

NetWare 4.11JまたはIntranetWareを使用する場合は、『再セットアップガイド』の「MS-DOS 6.2を利用する」をご覧のうえ、MS-DOS 6.2をアップグレードし、インストールした後、NetWare 4.11JまたはIntranetWareのマニュアルをご覧ください。

アプリケーションソフトが起動しなくなった。

CASE 1 アプリケーションソフトを起動させるのに必要なメモリが足りない。

➔複数のアプリケーションソフトを開いた状態で新しくアプリケーションソフトを起動しようとしても、そのアプリケーションソフトに必要なメモリが不足してアプリケーションソフトが起動できないことがあります。
このような場合は、いったん他のアプリケーションソフトを終了してからアプリケーションソフトを起動してください。それでもうまく起動しないときはコンピュータを再起動させてください。

利用できるアプリケーションを知りたい。

➔インターネットのホームページ「98 Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。つぎのアドレスにアクセスしてください。http://www.nec.co.jp/98/

本機添付のマニュアルをなくしてしまった。

➔本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』、『安全にお使いいただくために』、『ステップアップガイド』、『ソフトウェア操作ガイド』、アプリケーション操作ガイド』、『再セットアップガイド』、『困ったときにお読みください』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承願います。
お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

・販売方法 ： 電話・FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。
・お申し込み先 ： NEC PCマニュアルセンター
（電 話）03-5476-1900
（FAX）03-5476-1967
営業時間 ： 月～金曜日
AM10:00～12:00　PM1:00～4:00
（土曜日祝日年末年始を除く／FAXは24時間）

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。
ホームページアドレス http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/

なお、再セットアップに必要なプロダクトキーが印刷されているマニュアル(『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』など)は再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

マニュアルの書名や型名、プロダクトキーなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

フロッピーディスクを修復したい。

➡本機に添付されているフロッピーディスクの内容を壊してしまった場合などには、フロッピーディスクの内容を、有料で修復いたします。
お問い合わせ先は、添付の『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

CD-ROMを交換したい。

➡本機にCD-ROMが添付されている場合、添付のCD-ROMに傷が付くなどして使用できなくなった場合は、CD-ROM交換受付窓口で、使用できなくなったCD-ROMと正常なCD-ROMを、有料で交換いたします。
お問い合わせ先は、添付の『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

消耗品と消耗部品について知りたい。

➡本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自信で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECサービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管) ※いずれもディスプレイがセットになっているモデルのみ。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

本機を譲渡したい。

➜本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、登録内容の変更を行ってください。

本機内のデータには、個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

譲渡されるお客様へ

本製品は第三者に譲渡(売却)される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

① 本体に添付されている全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

② 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

③ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください)

譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へ、お知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でご返送ください。

ただし、『98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

① 本体保証書番号(製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

② 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)
NEC
98OFFICIAL PASS登録センター係行

このパソコンを海外で使いたい。

➡海外では使えません。

西暦2000年問題について知りたい。

➡NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.nec.co.jp/98/

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

パソコンについてもっと知りたい。

CASE 1 最新機種に触りたい、最新情報が知りたい。

➡Bit-INN(☞P.75)、C&Cプラザをご利用ください。

CASE 2 インターネットでNECパソコンの最新情報が知りたい。

➡NECの「98Information」(http://www.nec.co.jp/98/)または「PICROBO」(http://www.nec.co.jp/picrobo/)にアクセスしてください(☞P.72)。

CASE 3 ファックスでNECパソコンの情報を取り出したい。

➡『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧になり、パソコン情報FAXサービスをご利用ください(☞P.73)。

CASE 4 パソコンセミナーを受けたい。

➡『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、PCカレッジ、PCクリーンスポット、各種研修センターにお問い合わせください(☞P.75)。

西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えた時に、アプリケーションによっては、年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

本機を廃棄したい。

➜ 本機の所有者が事業者の場合には、本機を廃棄するときにマニフェスト（廃棄物管理票）の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。

なお、本機の所有者が個人の場合には、マニフェストの発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。

Part 2

トラブル解決入門

トラブルが起こったときの対応方法や解決のためのポイントについて説明しています。

- ●トラブル予防のためのチェックポイント
- ●トラブル解決のためのチェックポイント
- ●トラブルチェックシート
- ●NECのサポート体制について
- ●コンピュータウイルス対策について

トラブル予防のためのチェックポイント

トラブルの予防のために、まず最初に次のポイントを確認してみましょう。

電源は正しい手順で入れる/切る

●電源を入れる場合

本機の電源を入れる際は、あらかじめ周辺機器の電源を入れておきます。
例えば、SCSIインターフェイス対応機器のように、本体の電源を入れる時に電源が入っていないと使用できない機器もあります。

●[スタート]メニューから電源を切る場合

Windows 95では、[スタート]ボタン→[Windowsの終了]をクリックし、[電源を切れる状態にする]を選ぶと、本機の電源が切れます。次に周辺機器の電源を切ります。

Windows 95のスタートメニューの画面

本機では、サスペンド機能を使用できません。

●電源スイッチで電源を切る場合

電源スイッチを押すと、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。Windows 95が終了して本機の電源が切れます。

本機に添付品以外の周辺機器を接続したときは、次の順序で電源を入れる /切るようにしてください。

入れるとき

・周辺機器の電源をACコンセントからとっているとき

周辺機器の電源を入れる → 本体の電源を入れる

・周辺機器の電源を「本体のAC電源コネクタ」からとっているとき

あらかじめ周辺機器の電源スイッチを入れておく → 本体の電源を入れる → 連動して周辺機器も電源が入る

・プリンタを接続しているとき

周辺機器の電源を入れる → 本体の電源を入れる → プリンタの電源を入れる

切るとき

・周辺機器の電源をACコンセントからとっているとき

本体の電源を切る → 周辺機器の電源を切る

・周辺機器の電源を「本体のAC電源コネクタ」からとっているとき

本体の電源を切る → 連動して周辺機器も電源が切れる → 周辺機器の電源スイッチは入れたままにしておく

・プリンタを接続しているとき

プリンタの電源を切る → 本体の電源を切る → 周辺機器の電源を切る

大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。
また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」などを使用して『再セットアップガイド』の手順に従って再セットアップする場合には、ハードディスク内にあるお客様が作成されたデータやお客様がインストールされたアプリケーションソフトは、再セットアップされません。必ず、再セットアップする前にこれらのデータをバックアップしてください。
バックアップをとる方法は、『ステップアップガイド』のPart1の「ハードディスク」をご覧ください。

あらかじめ起動ディスクを作っておく

Windows 95の調子が何かおかしくなったり、ちょっと設定を変更したらWindows 95そのものが起動しなくなってしまったりすることがあります。こんなときに、起動ディスク(Windows 95を起動するフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。
起動ディスクは、[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]の[起動ディスク]タブの[ディスクの作成]ボタンで作成できます。

改造をしない

本機添付のマニュアルに記載されている方法以外で、本機を改造や修理しないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品に関しては、当社のサービスの対象外となることがあります。

トラブル解決のためのチェックポイント

トラブルの解決のために、次のポイントを確認してみましょう。

落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。パソコンが反応していない（フリーズした）ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。
フリーズとは、どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなることです。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウインドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

電源ケーブルの接続を確認する

本体だけでなく、周辺機器などの電源ケーブルがきちんと接続されているかどうかを再度確認してみましょう。詳しくは、『ステップアップガイド』と周辺機器のマニュアルをご覧ください。

本体と周辺機器の接続を確認する

『はじめにお読みください』と周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続を確認してみましょう。ケーブルが外れかかっていると、本機が正常に動かなくなる原因となります。
ケーブルのコネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込めば、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。

本体内蔵機器を取り付けたら、ケーブル類のゆるみを確認する

本体内部に機器を取り付けた場合、気づかないうちにケーブルを引っぱってしまい、ケーブルの接続がゆるんで故障の原因となることがあります。ケーブルがコネクタに確実に接続されているかどうかを確認してください。

アプリケーションソフトが突然止まったら

Windows 95でアプリケーションソフトを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがあります。この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションソフトだけを強制的に終了することで、Windows 95の操作が続けられます（☞P.64）。

メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合は、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの数字などを、P.70～71のトラブルチェックシートなどに書き取っておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。

原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっと他のものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。

周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取りはずして、トラブルが起きた操作をやりなおすと、どれに関連したトラブルなのかがわかります。

Safeモードで起動する

本機がうまく起動しない場合には、Safeモードで本機を起動して、本機の状態を調べたり、設定を変更したりします。(☞P.67)

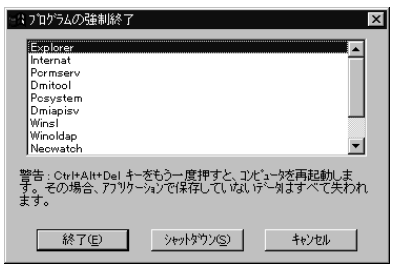
強制終了の方法

Windows 95が止まってしまった場合に、アプリケーションソフトを終了する方法は次の通りです。

キーボードのCTRLキーとGRPH(Alt)キーとDELキーを同時に押すと、[プログラムの強制終了]が表示されます。

プログラム名の後に[応答なし]と表示されている項目を選択して、[終了]ボタンをクリックします。

[プログラムの強制終了]が表示されない場合は、 電源スイッチを約5秒以上押し続けて本機の電源を強制的に切ってから、もう一度電源を入れてください。プログラムを強制終了したり、電源スイッチを押したりすると、それまでに保存しておかなかったデータは消えてしまいます。



Windows 95のヘルプを使う

本書の「Windows 95のヘルプでトラブルを解決する」をご覧ください。(☞P.69)

本書のPart1「トラブルQ&A」の事例の中から、あてはまるトラブルを探す

トラブルにあてはまる項目があったら、そのページをお読みください。

READMEファイルなどを確認する

ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMには、最新情報が記載されたファイル(一般にREADMEといったファイル名が付けられています)が収録されていることがあります。READMEファイルは、「メモ帳」や「ワードパッド」などで表示できます。また、本機や周辺機器、アプリケーションソフトには、マニュアルに載っていない最新情報が記載されている小冊子などが添付されていることがあります。何か問題が発生した場合は、このような情報を確認してみてください。

READMEファイルの読み方

ここでは例として、本機に添付されている本機自身の「補足説明」(A:¥WINDOWS¥NECREAD.TXT)の読み方を説明します。

1 **[スタート]ボタン→[プログラム]→[補足説明]をクリック**

または次の方法で読むことができます。

1 **[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]の[メモ帳]をクリック**

2 **[ファイル]をクリックし、メニューから[開く]をクリック**

3 **ファイル名に次のように入力して、[開く]ボタンをクリック**

A:¥WINDOWS¥NECREAD.TXT

NECREAD.TXTが開きます。

増設した周辺機器を取り外し、調査する

お客様が増設された周辺機器(拡張ボード、メモリ、ハードディスクなど)を一つずつ取り外して、正常に動くかどうか確認してください。
正常に動いた場合、取り外した機器がトラブルの原因になっていると考えられます。
周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマニュアルで確認するか、ご購入元製造元に問い合わせてください。

NECのホームページ「98Information」を見る

アドレスは、http://www.nec.co.jp/98/です。

「NECのサポート体制について」(☞P.72)をあわせてご覧ください。

「トラブルチェックシート」に記入する

どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」に記入してください。お問い合わせの時に役立ちます。

問い合わせる

NECの問い合わせ先は『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。
パソコンと別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。
パソコンに添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先からのほうが適切な回答を得られます。

<パソコンに添付されているアプリケーションの問い合わせ先>

・本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」に従い、各社へお問い合わせください。
・その他のアプリケーションについては、『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。

「NECのサポート体制について」(☞P.72)をあわせてご覧ください。

Safeモードで本機を起動したい

本機がうまく起動しない場合には、Safeモードで本機を起動して本機の状態を調べたり、設定を変更したりします。
Safeモードは次の方法で起動します。

1 **電源を一度切った後、電源スイッチを押して電源を入れる**
画面左上にメモリチェックが表示されます。

2 **「Windows 95を起動しています」というメッセージが表示されたら、すぐにF8キーを押す**
Microsoft Windows 95起動メニューが表示されます。

3 **[3. Safeモード]を選択してキーボードのEnterキーを押す**

4 **次の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリック**
Safeモードが起動します。

なお、再び標準の状態でWindows 95を起動したい場合は、再起動してください。

スキャンディスクについて

周期的(日、週単位)に「スキャンディスク」でのチェックをお勧めします。
エラーが発生した場合は修復を実行してください。
尚、スキャンディスクに関する、より詳細な機能をお知りになりたい場合は、[ヘルプ]のキーワード[スキャンディスク]を参照してください。

スキャンディスクの操作手順

CASE 1 Windows 95が立ち上がる場合：

1 **[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[スキャンディスク]をクリック**

2 **エラーをチェックするドライブを選ぶ**

3 **[チェック方法]で[標準]を選ぶ**

4 **[エラーを自動的に修復]をクリックしてチェックをつける**

5 **[開始]ボタンをクリック**

6 **[結果レポート]が表示され、エラーが発見されなかった場合は、[閉じる]ボタンをクリック**

エラーが発見された場合は、画面の指示に従ってください。

7 **もう一度[閉じる]ボタンをクリック**

以上でスキャンディスクの実行は終了です。

CASE 2 Windows 95が立ち上がらない場合：

1 **本体の電源を入れる**

画面左上にメモリチェックが表示されます。

2 **「Windows 95を起動しています」というメッセージが表示されたらすぐにキーボードのF8を押す**

3 **「Microsoft Windows 95起動メニュー」が表示されたら、「5.コマンドプロンプトのみ」を選択してキーボードのEnterキーを押す**

4 **コマンドプロンプトから次のように入力する**

scandisk Enter

5 **エラーが発生した場合は「ファイルに変換する」等を選んで修復する**

6 **「クラスタスキャンを実行しますか?」というメッセージが表示されたら、カーソルキーの←→キーを使って、[いいえ]を選択して、キーボードのEnterキーを押す**

7 **Xキーを押してスキャンディスクを終了する**

以上でスキャンディスクの実行は終了です。
パソコン本体を再起動してください。

Windows 95のヘルプでトラブルを解決する

Windows 95には、画面上で操作手順の確認ができる「ヘルプ機能」があります。ここでは、トラブル解決に役立つ情報を検索する方法を説明します。

1 **[スタート]ボタン→[ヘルプ]をクリック**

2 **[Windowsのヘルプ]の[キーワード]画面で[トラブル]と入力する**

3 **「トラブルシューティング」のキーワードが表示されたら、目的の項目をダブルクリックして説明を読む**

ヘルプを終了する場合は[×]ボタンをクリックしてください。

OSを再セットアップする

『再セットアップガイド』をご覧になり、OSを再セットアップして、正常に動くかどうか確認してください。OSを再セットアップしても正常に動かない場合は、ご購入元、最寄りのBit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

再セットアップすると、お客様がインストールされたソフトウェアや、お客様が作成されたデータは消えてしまいます。再セットアップの前に、必ずバックアップをとっておいてください。

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、お客様のご利用環境やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。お問い合わせいただく前に、次のシートにあらかじめお使いのパーソナルコンピュータの種類やトラブルの内容などを記入しておいてください。

動作環境一覧

■ハードウェア環境

本体	
型名：PC-9821	製造番号（保証書番号）：
搭載メモリ容量	M バイト
ハードディスク容量	G バイト
ハードディスク空き容量	M バイト
周辺機器	**品名・型名（メーカー名）**
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア環境

使用しているOSのバージョンと発売メーカー

Windows 98　Windows 95　Windows 3.1　Windows NT（バージョン　　）

MS-DOS 6.2　その他（　　）

トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト名

具体的な問題の内容

●問題発生時の動作・状況

●画面表示の内容（エラーメッセージなど）

●障害発生の頻度

毎回　　不定期(　　回に一回程度)

特定の動作時

●その他（気づいたことがあればお書きください）

ＭＥＭＯ

NECのサポート体制について

NECでは、次のようなサポート体制でお客様の快適なパソコンライフをお手伝いしています。

各種サービスの問い合わせ先や営業時間などの詳細については、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

『メンテナンス&サポートのご案内』
→ビジネスでパソコンをお使いになるお客様へ、メンテナンスおよびLAN・ネットワークシステムのサポート情報について記載されています。
『NEC PCあんしんサポートガイド』
→パソコンに触る、知りたい、学ぶ等の施設、操作の相談、故障時のサービス網の紹介が記載されています。

通信でパソコンの最新情報を知りたい.....

■インターネットで情報サービス

インターネットで、NECのパソコンに関する製品仕様やオプションとの接続可否、Q&Aなどをお客様ご自身で調べることができます。また、NECパソコン対応ソフトウェアの機能修正プログラムなどの提供も行っています。
次のURL(アドレス)へアクセスしてください。

- **98Information**
  http://www.nec.co.jp/98/
- **PICROBO**
  http://www.nec.co.jp/picrobo/

■パソコン情報FAXサービス

FAXを使って24時間いつでも手軽にQ&A、周辺機器との接続可否などの情報が入手できます。お手持ちのFAX(トーン信号の出る機種)からダイヤルし、アナウンスに従って番号を入力してください。FAX番号は次の通りです。

- **東京:(03)3769-9821**
- **大阪:(06)6304-9821**
  ※大阪のFAX番号は平成11年9月1日より(06)6364-9821に変わります。

技術的なご相談は

NECのパソコン本体や周辺機器、ソフトウェアの電話によるお問い合わせは、NECフィールドサービス、NECパソコンインフォメーションセンターをご利用ください。最新の情報と知識を身につけたスタッフがお答えします。
電話番号などは、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

故障かな?と思ったら

■NECのサービス網

本機やNECパソコン用の周辺機器の保守サービスは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お客様のご要望に合わせて、保守契約、出張修理、持ち込み修理、引き取り修理の4種類のサービスを用意しています。

NECサービスセンター、サービスステーションの問い合わせ先や営業時間などの詳細については、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口
		保証期間内	保証期間外		
保守契約	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対し、お客様のもとにサービスマンを派遣し、修理いたします（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください）。保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いいただくため、一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能となります。	機器構成に応じた年間一定料金		年間一括前払い	ご購入元 NECサービスセンター、 サービスステーション
出張修理（スポット保守）	ご契約は一切不要ですが、修理のご依頼に対しサービスマンを随時派遣して修理を行います（原則としてその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください）。	出張料のみ 出張修理対象品は無料	修理料＋出張料	修理完了後 その都度清算	
持ち込み修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。 お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		ご購入元 NEC Bit-INN NECサービスセンター、 サービスステーション
引き取り修理	お客様のご都合で修理品をお持ち込みいただけない場合、修理のご依頼に対し、最寄りのサービス拠点より修理品を引き取りにうかがい、修理完了後お届けいたします。	引取／返却料のみ	修理料＋引取／返却料		NECサービスセンター、 サービスステーション

一般の保守サービス施設と同様の修理はもちろん、お客様のご要望によっては可能なものなら即日で修理することができます。また、故障の修理以外にも、ソフトウェアのインストールサービスやパソコンのクリーニングサービスも行っています。

サービスの内容や問い合わせ先は、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

サポートセンターが遠い、電話がつながりにくいときは

お問い合わせの内容によっては、次のようなサービスを利用すると便利です。

- **パソコン通信**
- **インターネット**
- **パソコン情報 FAXサービス**

パソコン通信とインターネットでは、お客様に最新の製品情報や、NECパソコン対応ソフトウェアの機能修正プログラムの提供をしています。
また、パソコン情報 FAXサービスでは、各機種別の不具合の回避方法などについての情報を、お手持ちのFAXで取り出すことができます。

■Bit-INN

Bit-INN(NECパソコン　サービスルーム)でも故障の修理の受付を行っております。

問い合わせ先は、本機添付の『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

パソコンセミナーを受講したい

NECでは次のようなパソコンセミナーを開催しています。

セミナーの内容や開催日程のお問い合わせは、本機添付の『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

■PCカレッジ

NEC PCカレッジは、NECが運営しているパソコンスクールです。コースは入門コース、実践コースなどに分かれています。各コースには、バラエティーに富んだ各種講座が用意され、レベルや目的、スケジュールにあわせて受講できます。

■PCクリーンスポット

PCクリーンスポットでは、各種パソコン教室を開催しています。また、一対一で個人教授を承っているPCクリーンスポットもあります。

■C&Cシステム講習会

C&Cシステム講習会では、企業研修向けにパソコン教室を開催しています。

コンピュータウイルス対策について

コンピュータを回線やネットワークにつないで、データのやりとりが多くなると心配なのがコンピュータウイルス(以降ウイルス)です。
ここでは、ウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法と、検査するためのアプリケーションソフトについて説明しています。

コンピュータウイルスとは.....

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

■コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- **フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。**
- **出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。**
- **入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。**
- **パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。**

■本機には「VirusScan」が用意されています

NCSA認定スキャナであるVirusScanは、「イン・ザ・ワイルド」ウイルスを検出することができます。認定状況については、NCSAのWebサイト(http://www.ncsa.com)をご覧ください。
VirusScanを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックさせることをおすすめします。

■「VirusScan」の基本的な操作方法

VirusScanは「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee　VirusScan」→「VirusScan」をクリックすると起動できます。

「スキャン開始」ボタンをクリックしてください。ウイルス検査の対象とするドライブ、フォルダを細かに設定するには、[編集]ボタンをクリックし、「ドライブまたはフォルダ」に対象とするドライブ、フォルダのパスを入力し[OK]ボタンをクリックします。

毎時、毎日、毎週、毎月というぐあいに定期的にウイルスを検索するスケジュールスキャン、ネットワークやフロッピーディスクを経由して入出力されるファイルをリアルタイム監視するオンアクセススキャンなどの機能もあります。また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

■コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。
また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスク)をすべてウイルス検査する必要があります。

■コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がセキュリティセンターウイルス対策室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先:情報処理振興事業協会(IPA)

本部:〒113-6591　東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室
電話　03-5978-7509　FAX　03-5978-7518
ホームページアドレス　http://www.ipa.go.jp/

ウイルスの種類

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。
ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス
一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス
アプリケーションソフトのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス
コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

索引

英数

100MB 4
100Mbps 47
16Mバイトシステム空間 50
1Gバイト 38
1Mバイト 38
2000年問題 57
5インチのフロッピーディスク 37
98Information 51, 57, 66
98環境設定ユーティリティ 49
98Timer 24, 35
Aドライブ 15
CCU 53
CONFIG.SYS 35
CRTディスプレイ 24
Cドライブ 15
DIP-SWITCH 10
DMAチャネル 11, 50
FEP 34
High Color 27
I/Oロック 36, 44, 52
IPA 78
MS-DOS 15, 53
MS-DOSプロンプト 27, 49
MS-DOSモード 43
MS-IME97 20
OS 53
Part1の読み方 x
PCIセットアップユーティリティ 11
README 65
ROMアドレス空間 11, 50
Safeモード 13, 64, 67
SWITCHコマンド 49
TEMPフォルダ 39
True Color 27
VirusScan 77
Windows 3.1 ..... 15, 20
Windows 95 54
Windows 95起動メニュー 13
Windows NT 4.0 53
Windowsパスワード 35

あ

アイコン 27
アプリケーションソフト 15
異臭 ..... ix, 2
一般保護違反 64
意味不明の文字 44
インストール 14
インターネット 72
ウイルス 76
エラーメッセージ 10, 47
お手入れ 35

か

海外 56
海外ゲーム 31
会社名 7
解像度 26
拡張ボード 11
カテゴリ5 47
カレンダ時計 51
キーボード 3, 29
技術的な相談 3
起動ディスク 62
起動メニュー 13
基本操作 14
強制終了 29, 64
共有 48
煙 ..... ix, 2
検索 16
固定ディスク起動メニュー 35, 39
コンピュータウイルス 76

さ

最新情報 57, 65, 72
再セットアップ 14, 38, 69
再度購入 54
削除 40
サスペンド機能 60
時刻 51
自己診断プログラム 11
システムセットアップメニュー 12, 49
自動的に隠す 17
シャットダウン 9
充電 51
修復 54
周辺機器 11, 63
修理 3
出張修理 73
障害 38
省電力機能 24, 25
譲渡 56
消耗品 55
消耗部品 55
シリアルインターフェイス 52
スイッチ 49
スキャンディスク 9, 13, 38, 68
セキュリティ 36, 44, 52
設定 8, 23
セットアップ 6, 7
セットアップパスワード 12
増設 11

た

タイマー 35
ダイヤラー 53
ダイヤル 53
チェックポイント 60
通信 53
ディスクトレイを強制的に出す 43
ディスプレイ 23, 24, 25, 26
ディスプレイアダプタ 19
停電 13
デバイスマネージャ 19
テレビ 4
電源 8, 9, 10, 60
電源管理 26, 53
添付ソフトウェアサポート窓口一覧 66
添付品 5
動作が不安定 53
動作速度 41
トラブルチェックシート 70
トラブル予防 60

な

長いファイル名 16
名前 7
日本語入力 31
ネットワーク 48
ノイズ 4

は

ハードウェアチェック 11
ハードディスク 38
ハードディスクの容量 38
廃棄 58
ハウリング 52
パスワード 12, 18
パソコン情報FAXサービス 74
パソコンセミナー 57, 75
パソコン通信 74
発煙 4
発火 4
バックアップ 41
パワーオンパスワード 12, 35
ハングアップ 30, 63
引き取り修理 73
日付 51
表記 v
フォーマット 36
復旧 16
プラグ& プレイ 45
フリーズ 63
フロッピーディスクドライブ 36
プロダクトキー 55
ヘルプ 65, 69
保守契約 73
補足説明 65

ま

マニュアル 54
マルチポートリピータ 46
ミュート 52
メッセージ 10
メモリ 50
メモリスイッチ 49
メモリチェック 50
メモリの容量 50
メンテナンス 66
持ち込み修理 73
モニター不明 26

や

用語集 vi
容量 40

ら

ライトプロテクトノッチ 37
ラジオ 4
領域確保 38
リンクケーブル 47
ルータ 45
例外エラー 64
ローカルエリアネットワーク 47

わ

割り込みレベル 11, 50

98
MATE

トラブルQ&A
困ったときにお読みください
98MATE
(Windows 95インストール)

二版　1999年7月
NEC
P

808-883412-018-A2

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙（古紙率：表紙50%、本文
100%）を使用しています。